

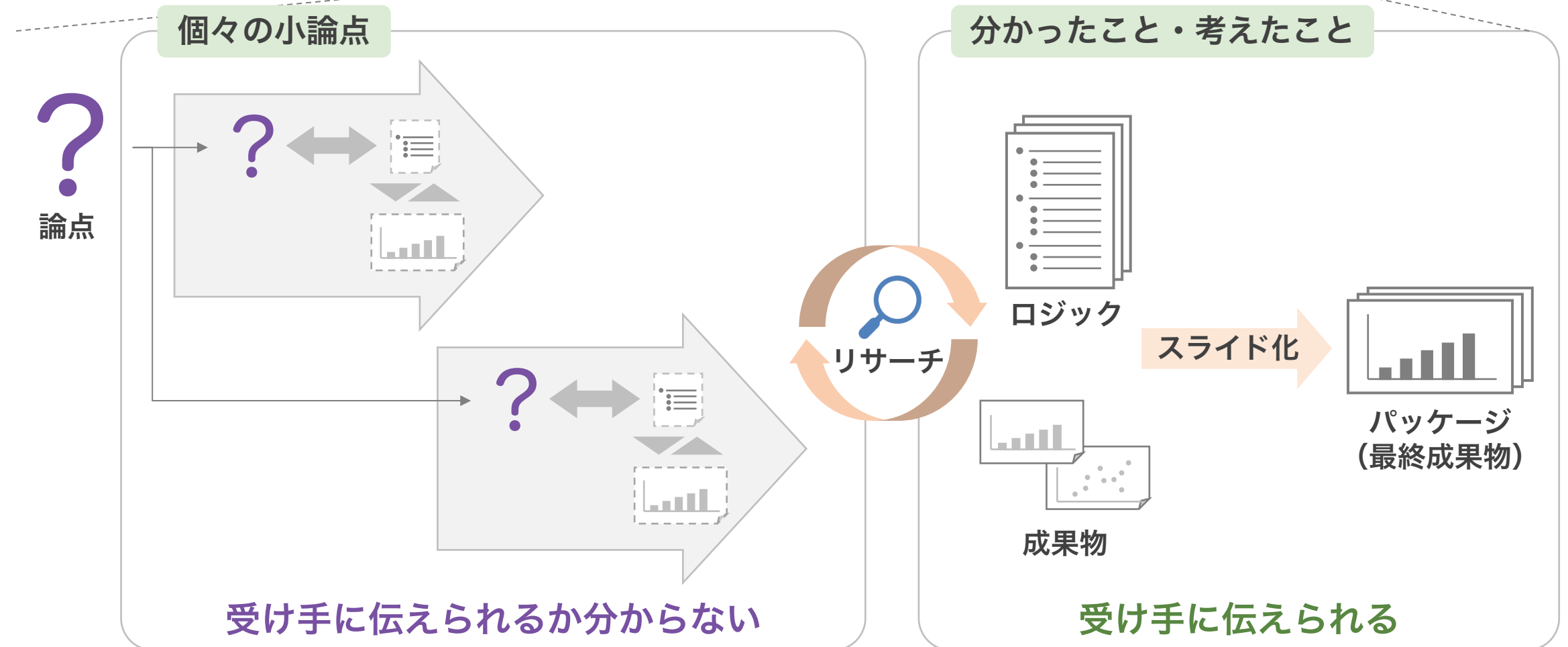
ロジカルな資料作成・プレゼンテーションの教科書シリーズ③
スライド・パッケージの作り方
文中スライド集

2022/9/20

Liffel

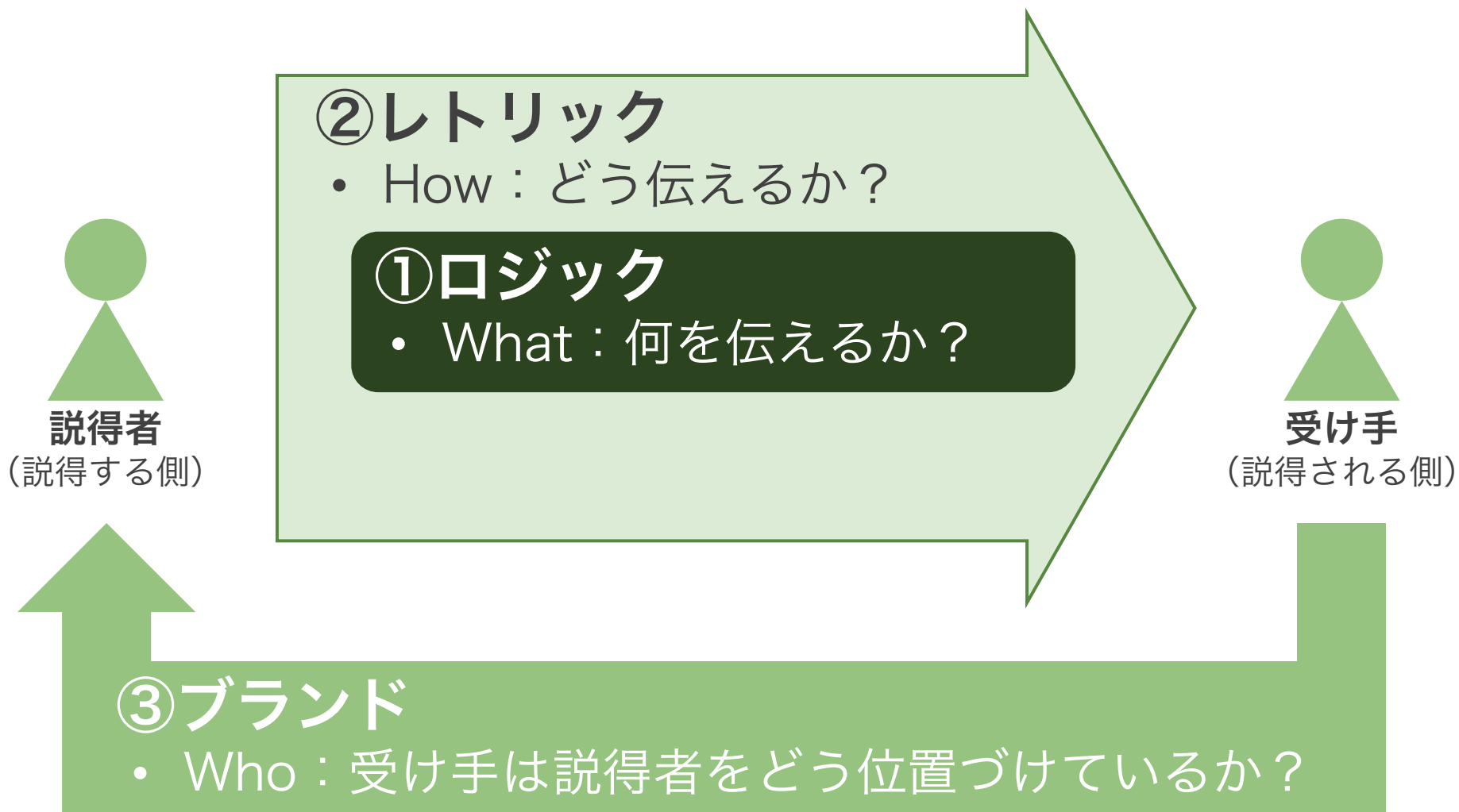
はじめに

論点がパッケージになるまで

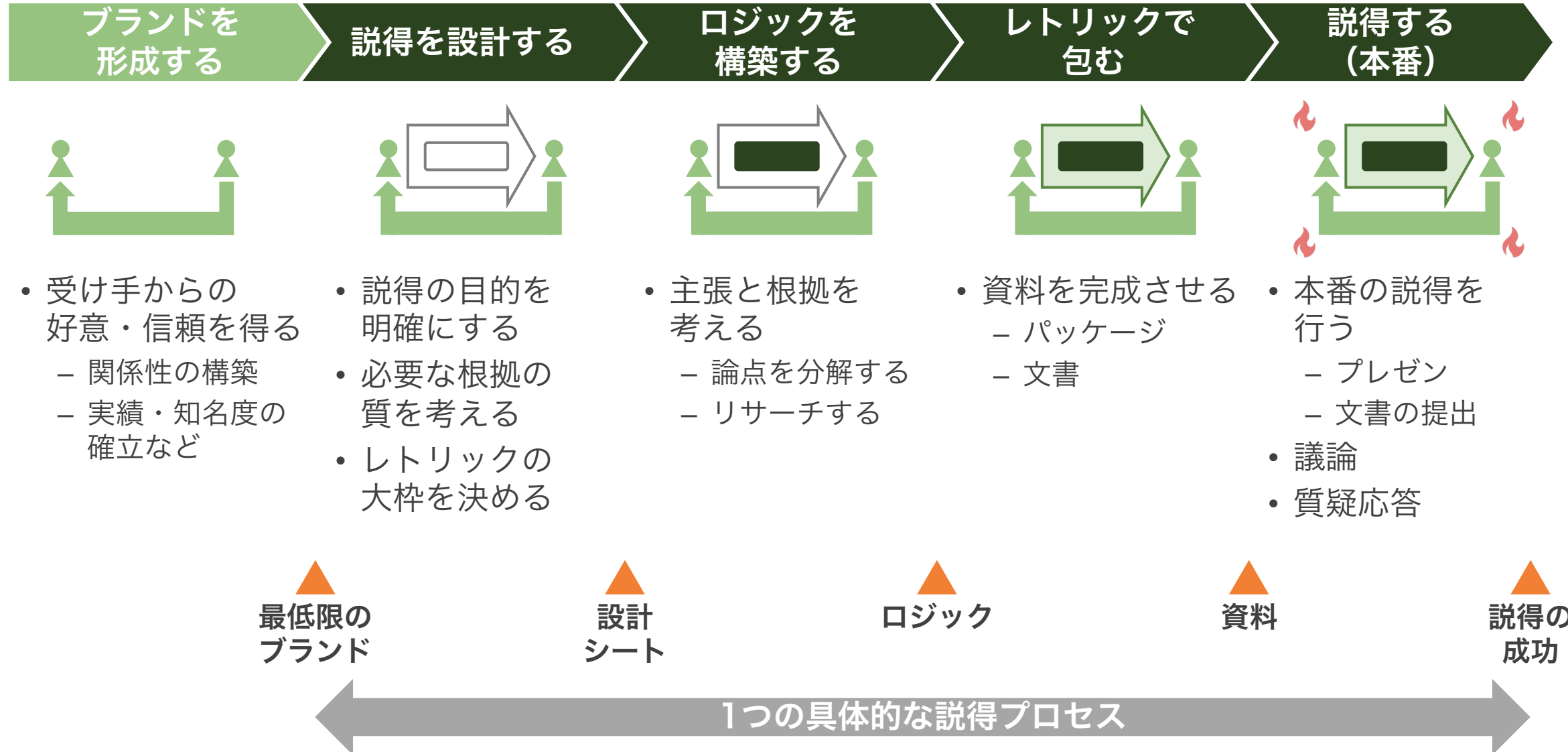


説得の構造

- 説得は①ロジック、②レトリック、③ブランドの3要素から構成される

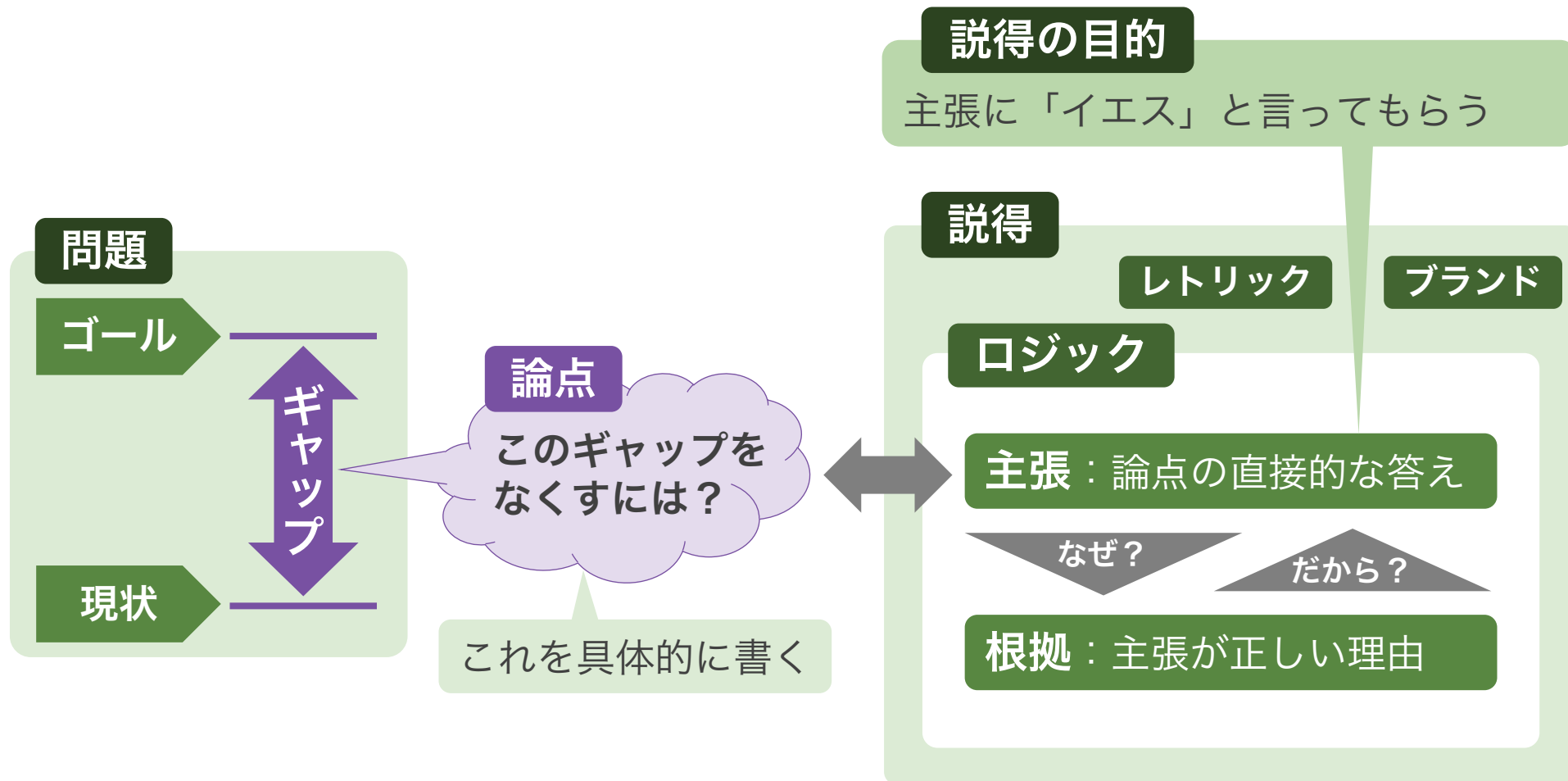


説得のプロセス

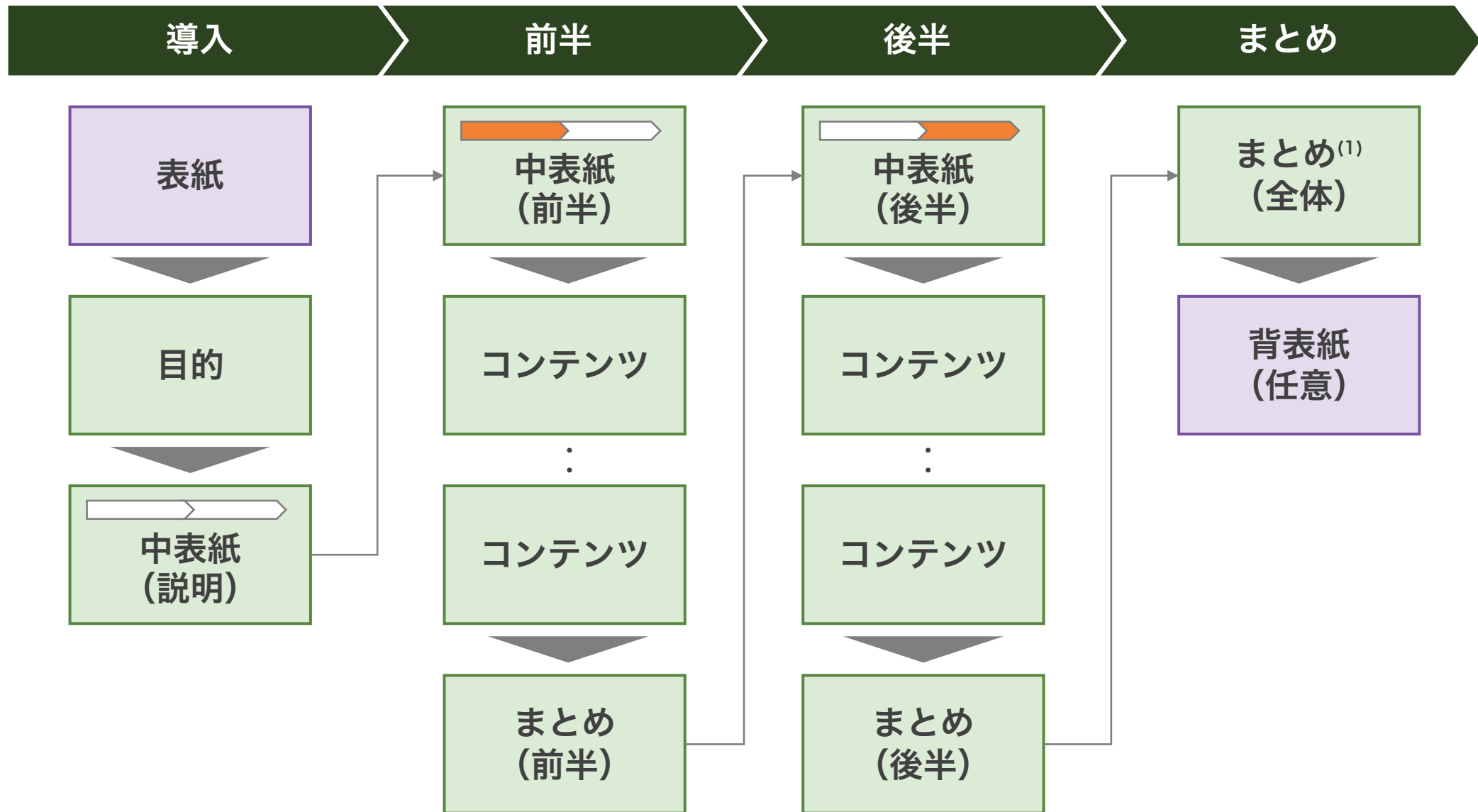


問題と説得の関係

- まず問題があり、私たちはそれに対する答えが正しいことを説得する
 - 問題に対する答えを問いかける疑問文が論点



パッケージのスライド構成 (2部構成の場合)



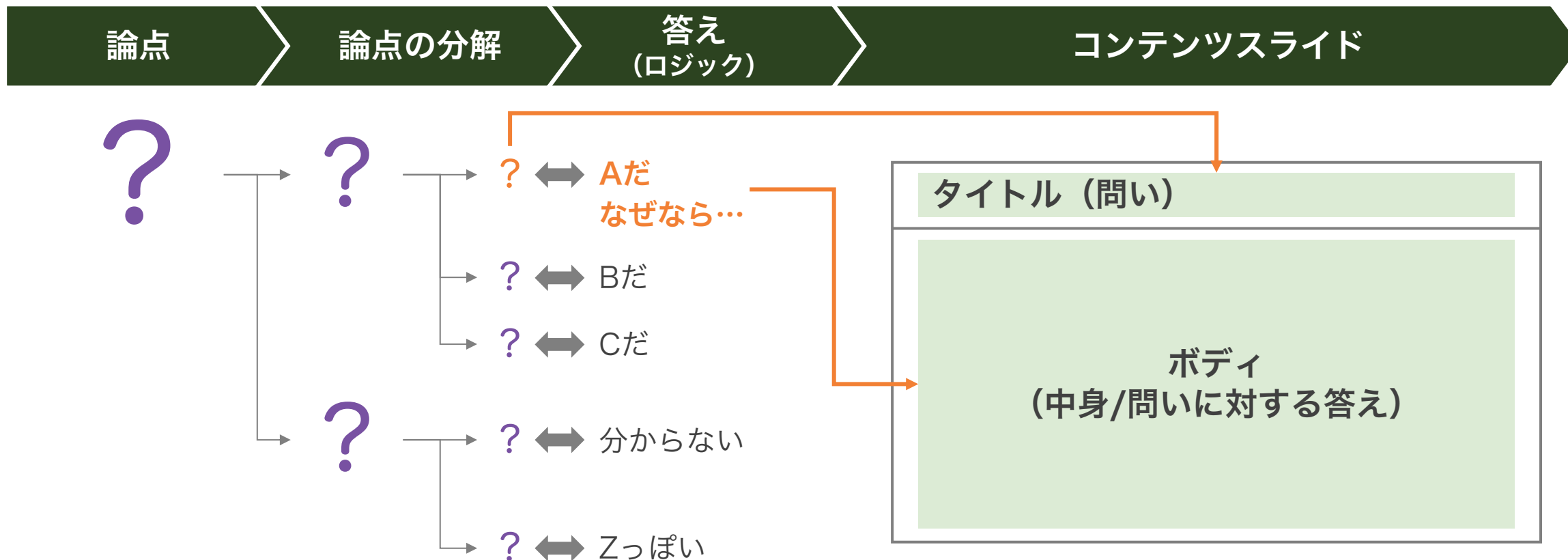
1. 結論先行型にしたい場合は、全体のまとめスライドを目的スライドの直後(3枚目)にも配置する

Lesson 1

コンテンツスライドとは

- コンテンツスライドとは、ロジックの一部を視覚的に表現するスライドである
 - 要するに「普通のスライド」のこと

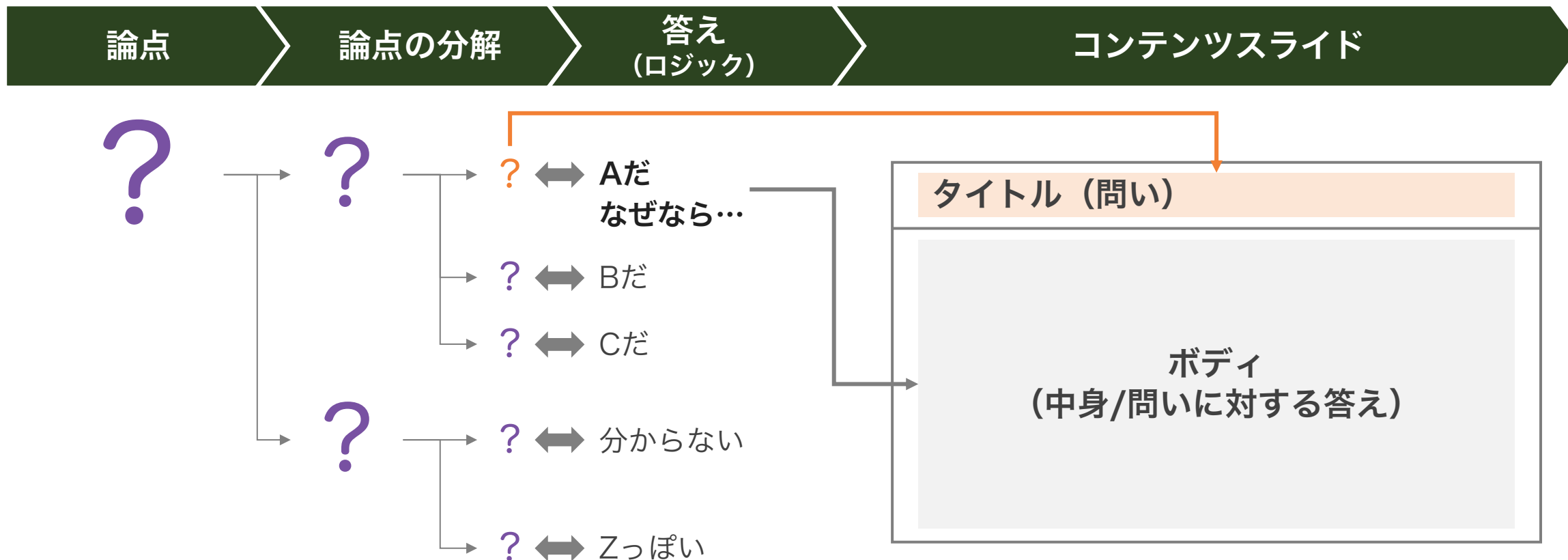
論点とコンテンツスライドの関係



コンテンツスライドの構成①：タイトル

- ・ タイトルとは、そのコンテンツスライドが扱う問い/テーマのこと
 - 分解した論点を、1枚のスライドで答えられるレベルで括って書く

論点とコンテンツスライドの関係

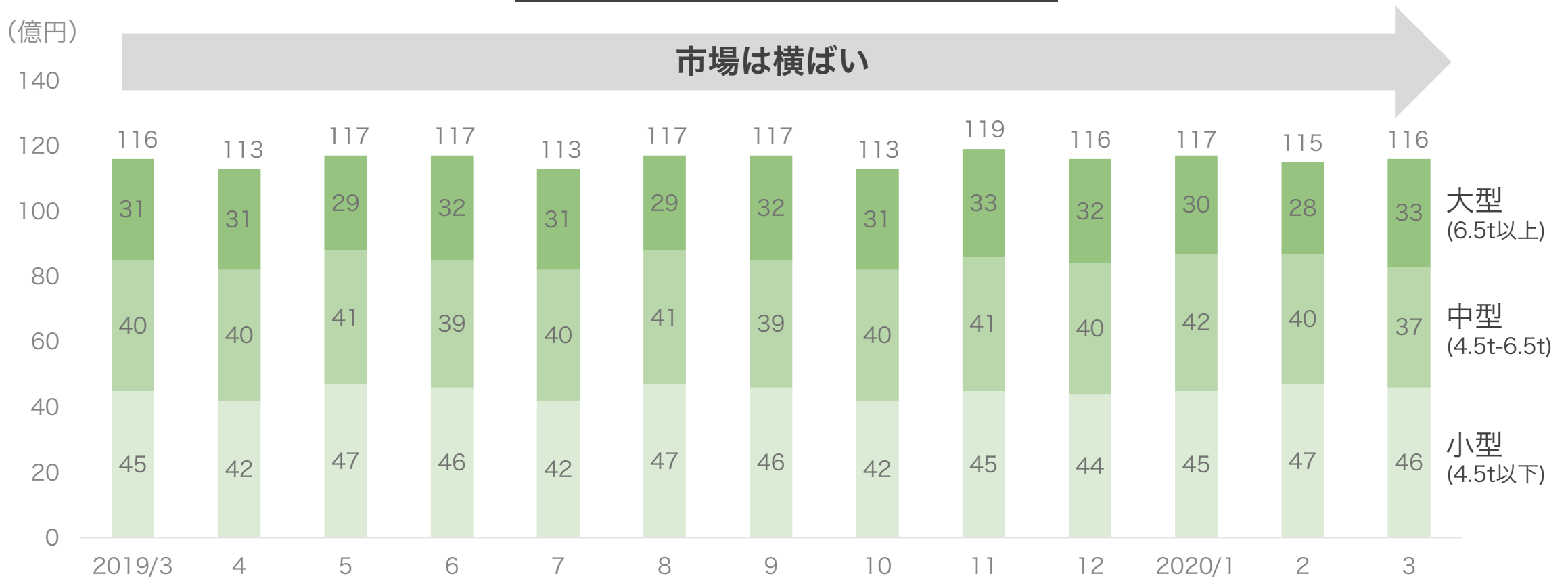


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移

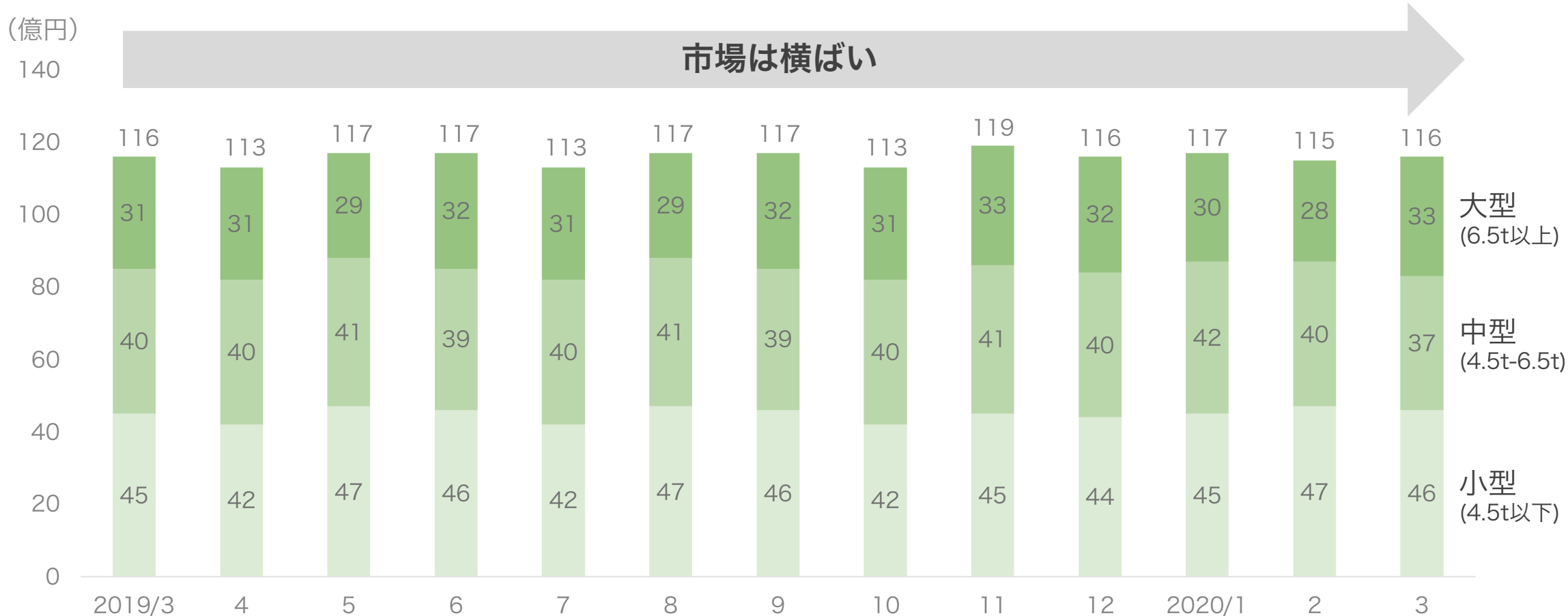


※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

トラック市場（関西地区）の推移

データはすべて架空のもの

- 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである
→我々の売上が減少した原因は、競合にシェアを奪われたからだと考えられる

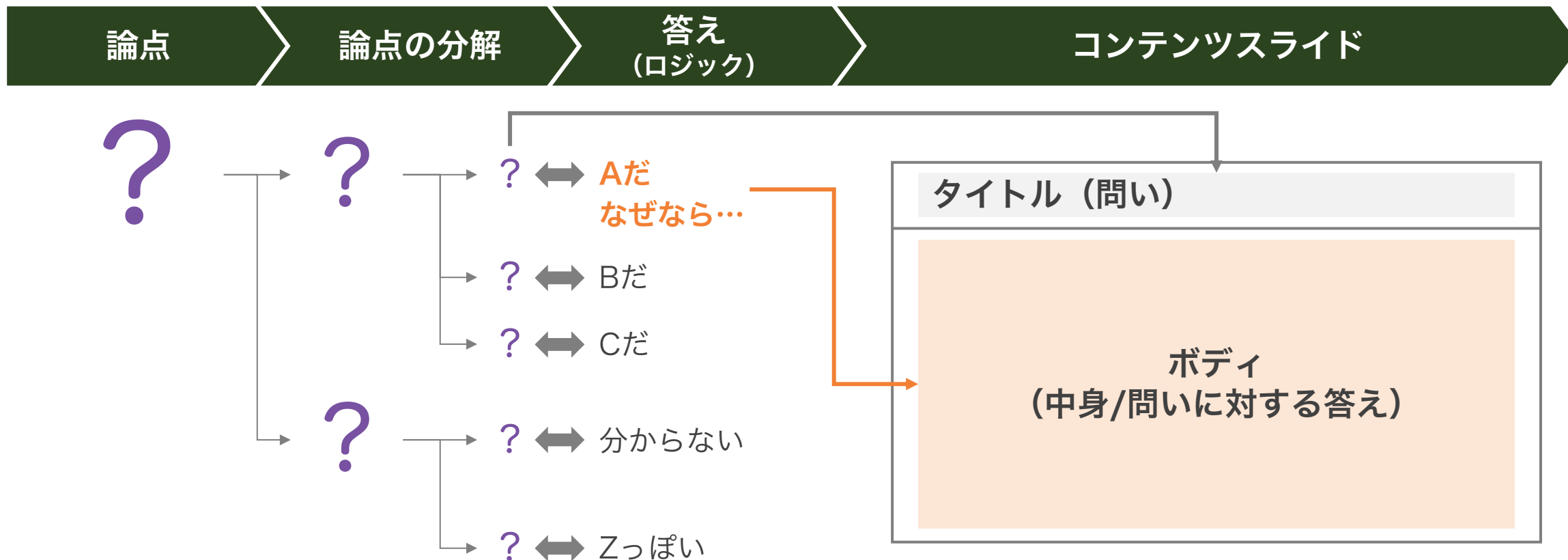


※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

コンテンツスライドの構成②：ボディ

- ボディでは、問い（タイトル）に対する答えを表現する
 - ボディのレイアウトには複数のパターンがある

論点とコンテンツスライドの関係

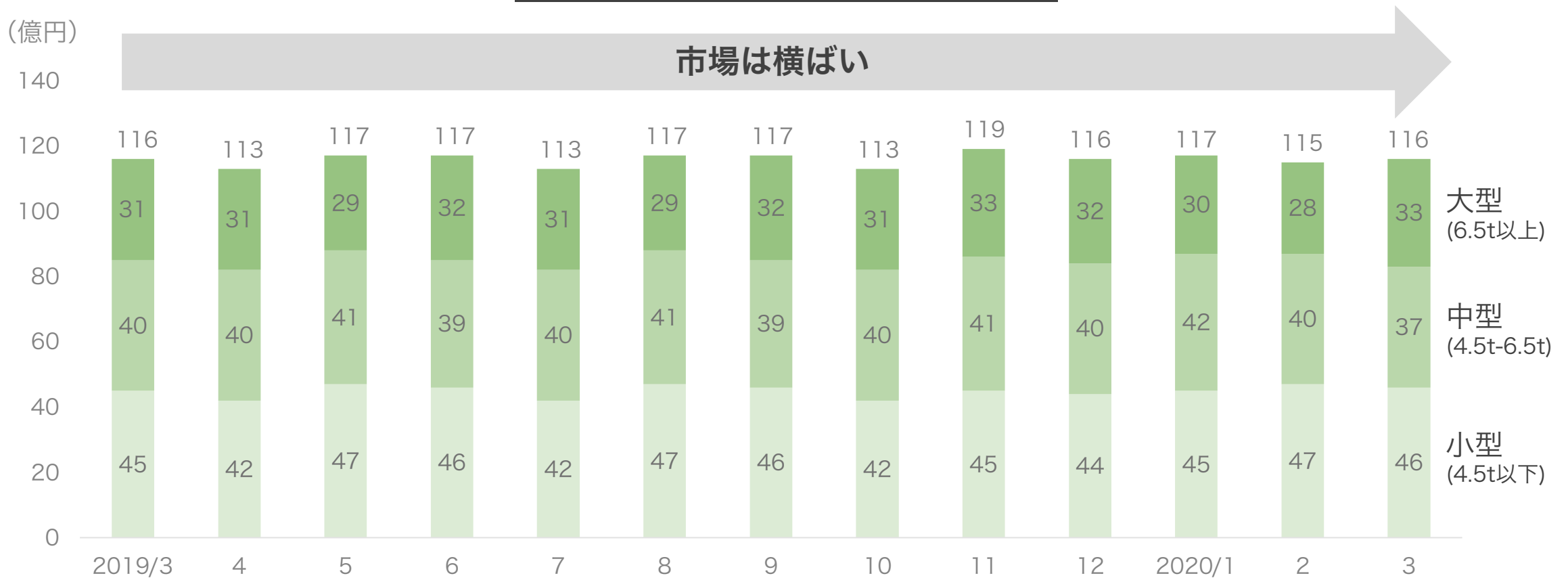


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移

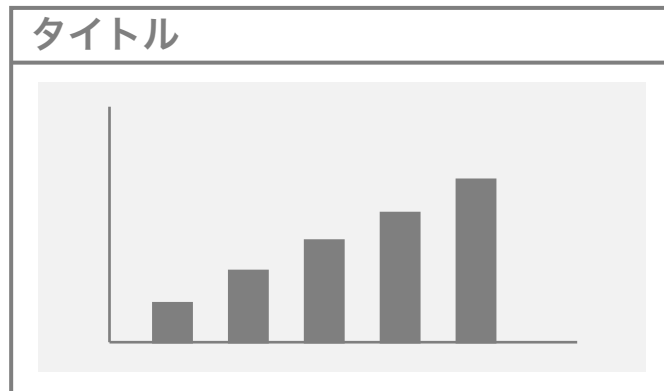


※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

主なボディのレイアウトと、使うべき型

- 論理性に寄ったコンテキストでは、ボディのレイアウトはメッセージ型を基本と考えるべき
 - 問いに対する直接的な答えをテキストで打ち出すことで、ロジックが分かりやすくなる

ボディのみ型



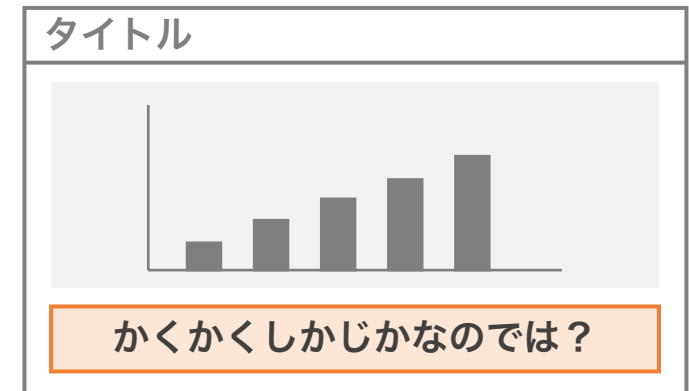
- 特に専用の領域を設けない
- 多用すべきではない
 - このタイプはプレゼンを聞かないと理解できない

メッセージ型



- ボディ最上部にテキストで問いに対する答えを書く
 - 要するに、答えは何か？
- **これを基本と考える**
 - 重要なことはテキストで伝えるべき

テイクアウェイ型



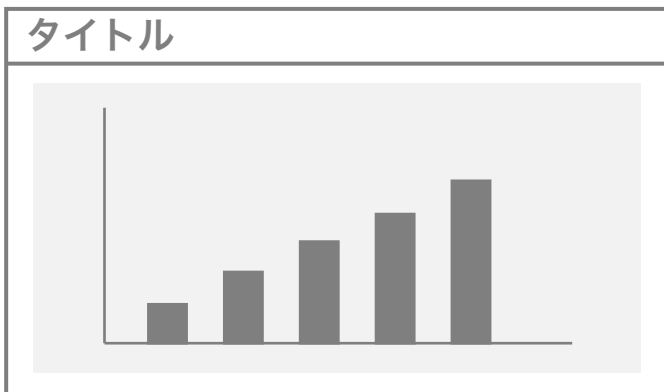
- ボディ最下部にテキストで示唆や新たな問いを書く
 - 問いに答えた結果、何が新しく言えるか？
- アクセントとして使ってもよい

Lesson 2

主なボディのレイアウトと、使うべき型

- 論理性に寄ったコンテキストでは、ボディのレイアウトはメッセージ型を基本と考えるべき
 - 問いに対する直接的な答えをテキストで打ち出すことで、ロジックが分かりやすくなる

ボディのみ型



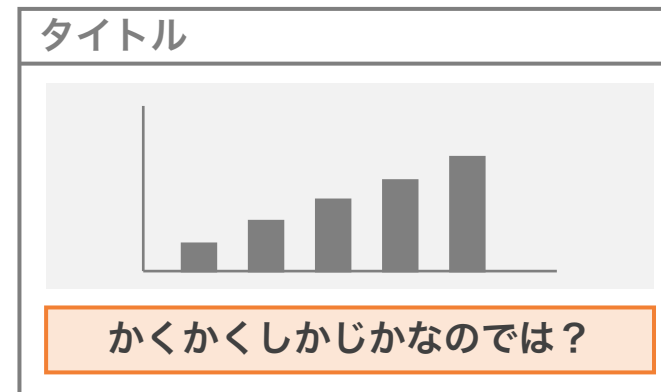
- 特に専用の領域を設けない
- 多用すべきではない
 - このタイプはプレゼンを聞かないと理解できない

メッセージ型



- ボディ最上部にテキストで問いに対する答えを書く
 - 要するに、答えは何か？
- これを基本と考える
 - 重要なことはテキストで伝えるべき

テイクアウェイ型

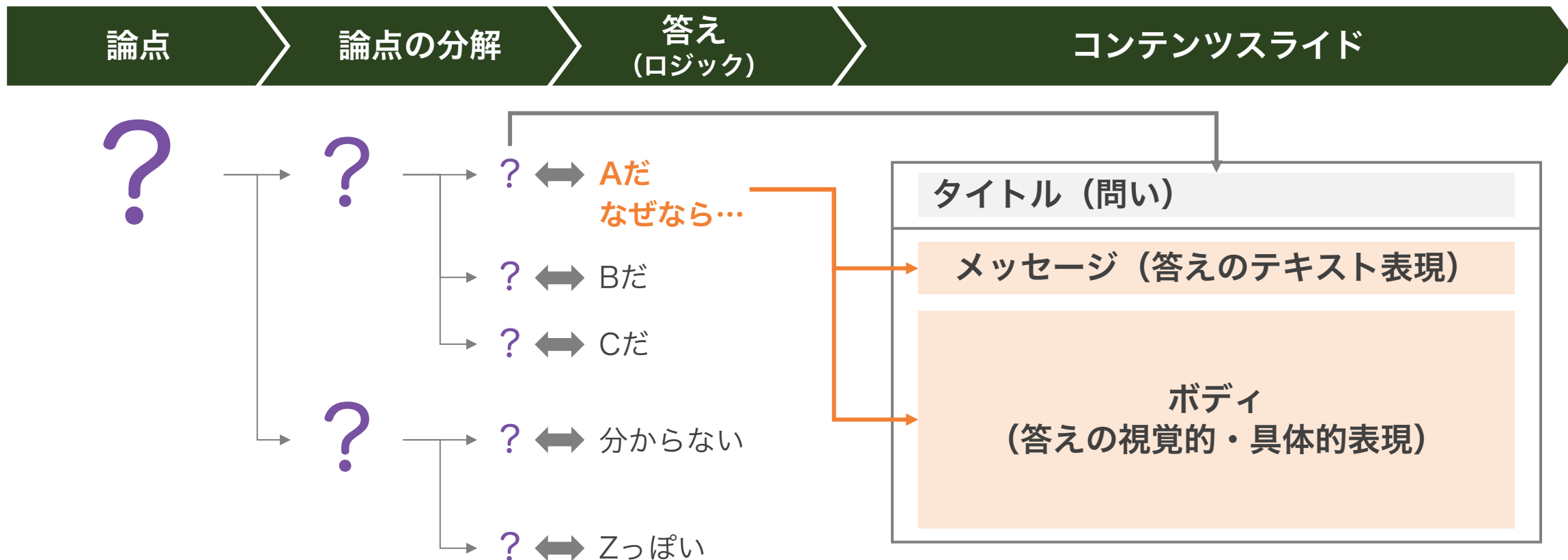


- ボディ最下部にテキストで示唆や新たな問いを書く
 - 問いに答えた結果、何が新しく言えるか？
- アクセントとして使ってもよい

メッセージ型の構成

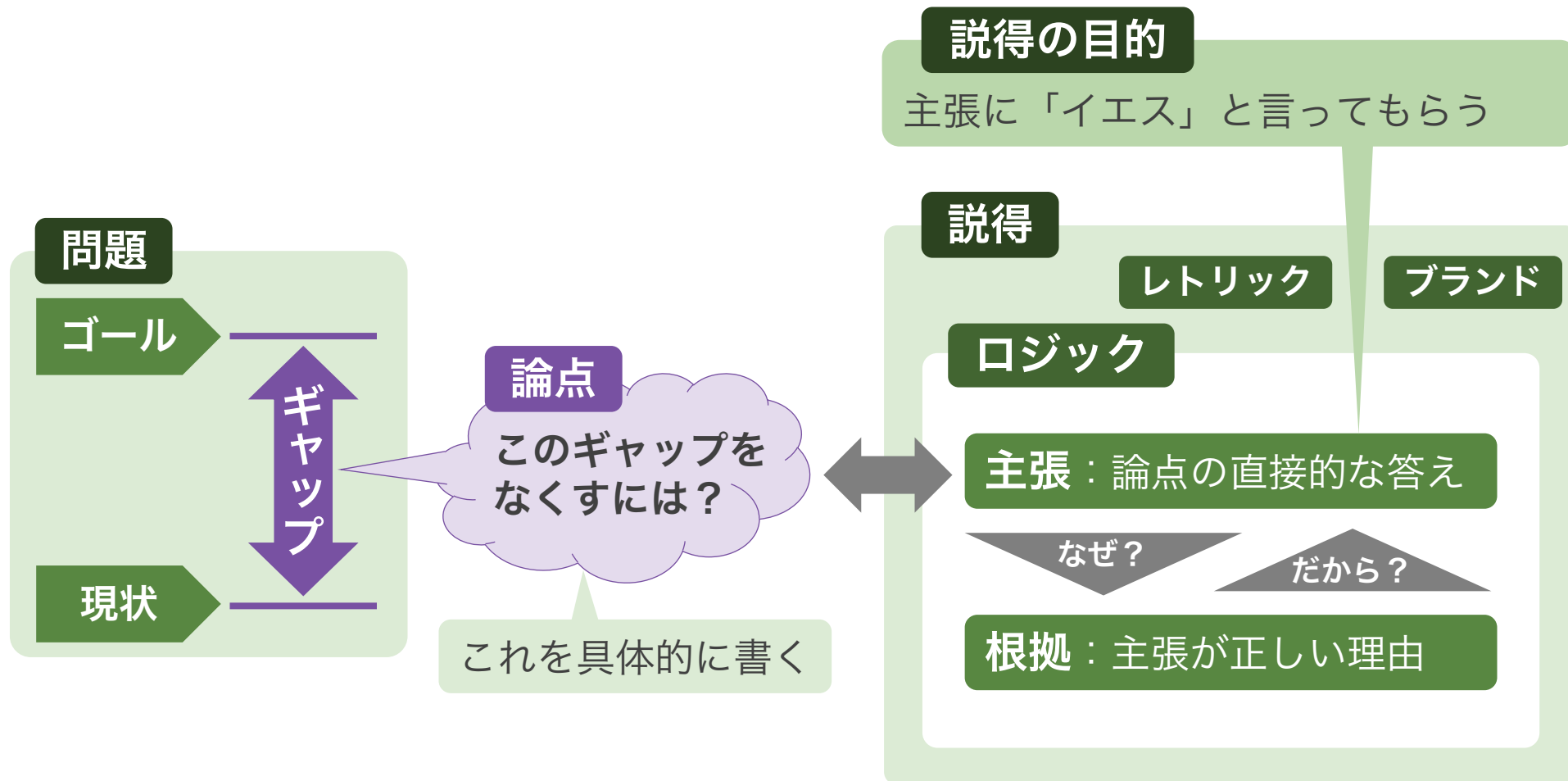
- メッセージ型では、タイトル下部に答えをテキストで書くための領域を設ける
 - そのようなものを作る以上、ボディは必然的に答えの視覚的・具体的表現になる

論点とコンテンツスライドの関係



問題と説得の関係

- まず問題があり、私たちはそれに対する答えが正しいことを説得する
 - 問題に対する答えを問いかける疑問文が論点

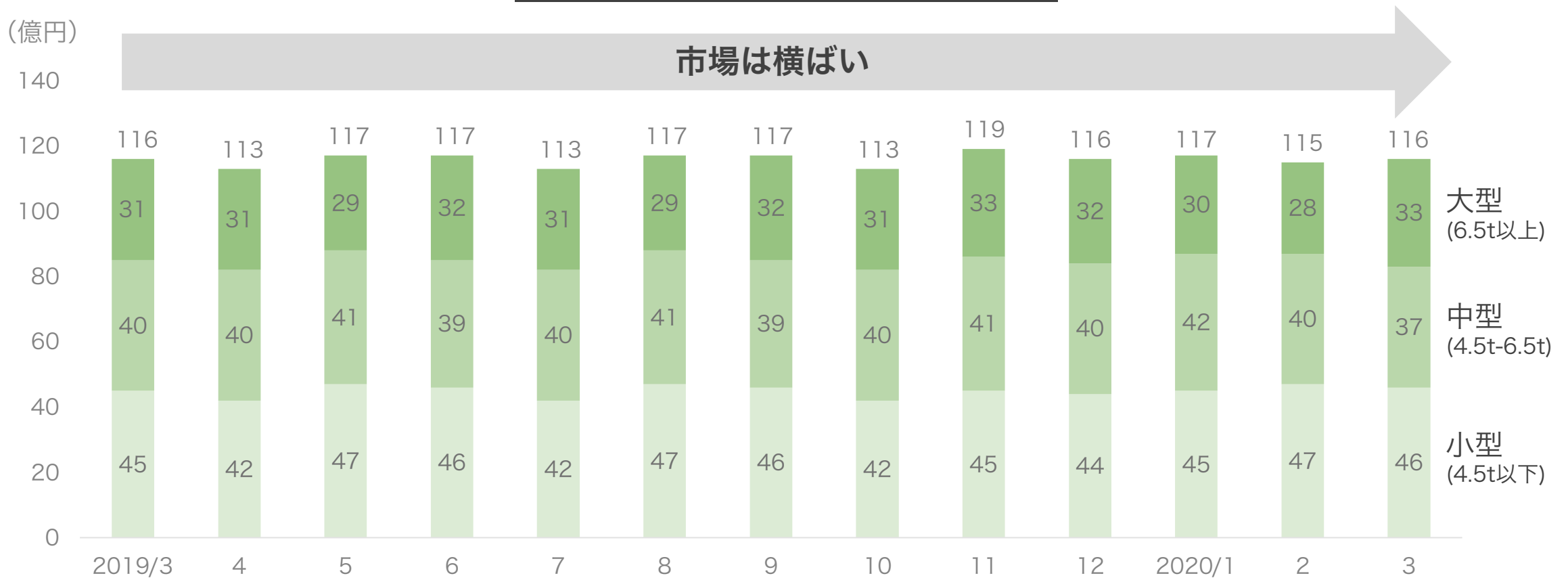


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移

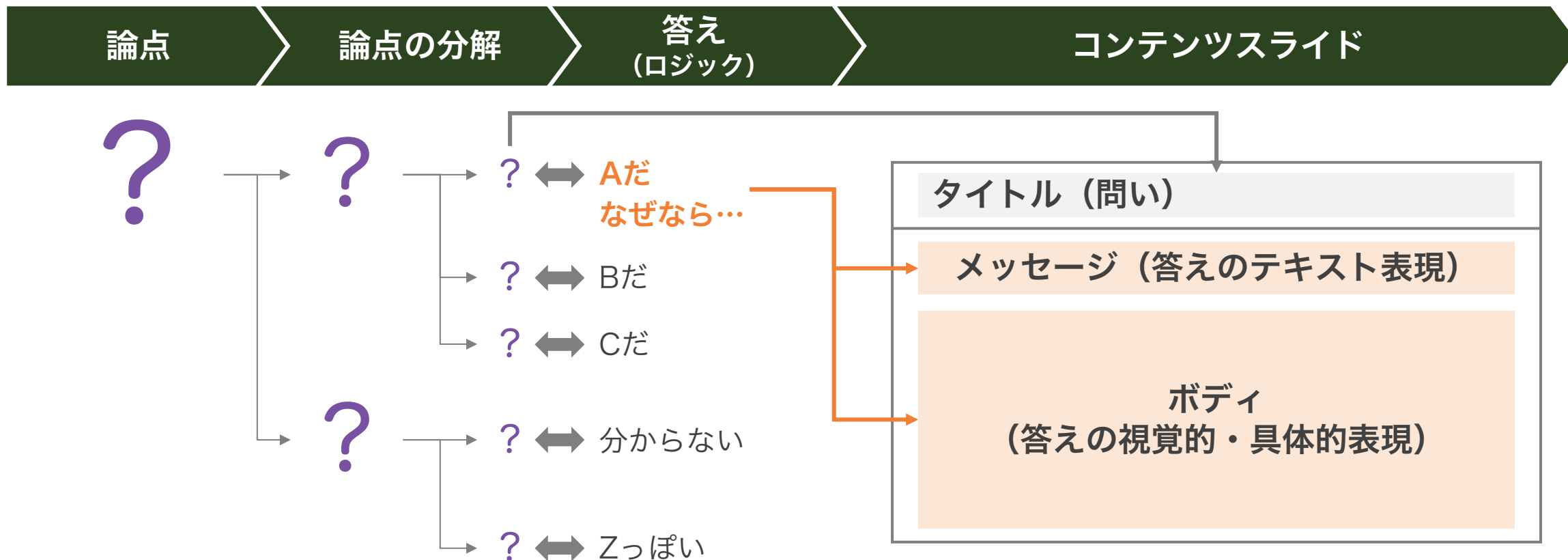


※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

メッセージ型の構成

- メッセージ型では、タイトル下部に答えをテキストで書くための領域を設ける
 - そのようなものを作る以上、ボディは必然的に答えの視覚的・具体的表現になる

論点とコンテンツスライドの関係

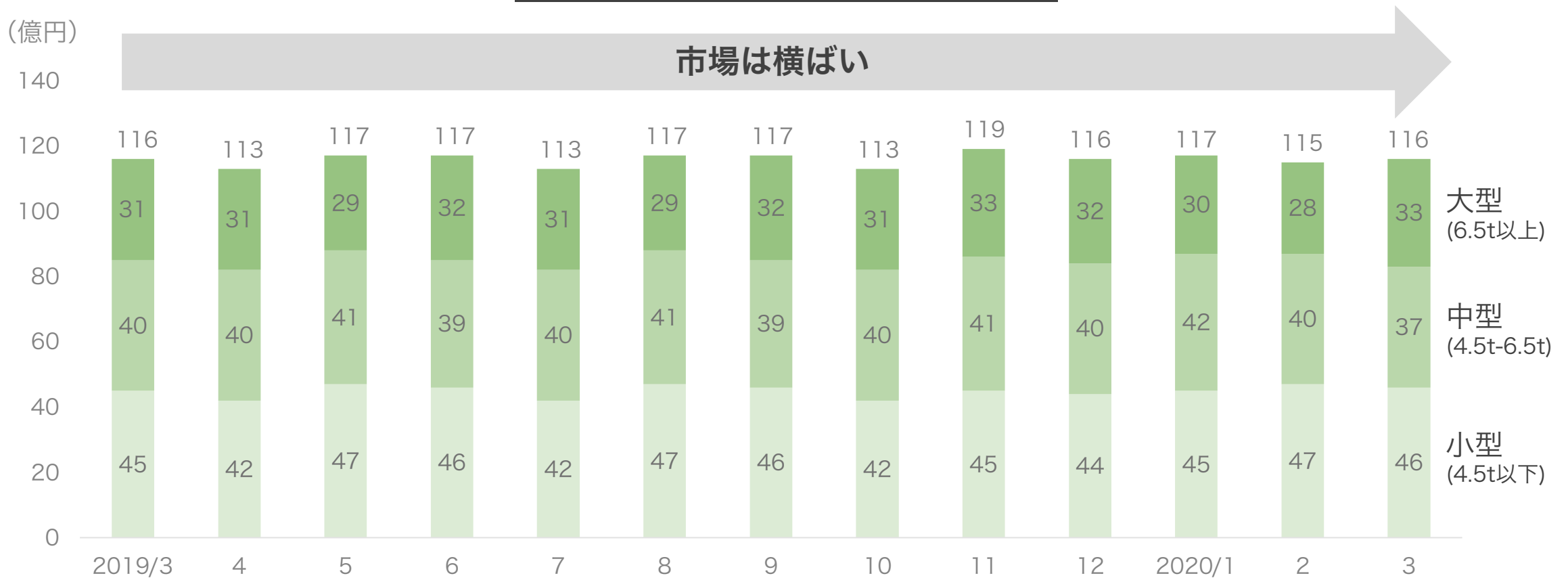


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移

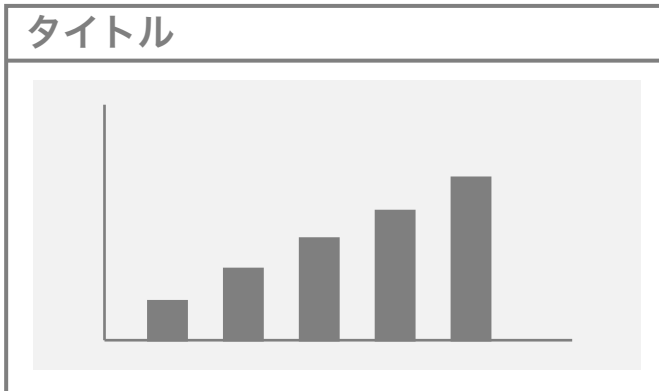


※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

主なボディのレイアウトと、使うべき型

- 論理性に寄ったコンテキストでは、ボディのレイアウトはメッセージ型を基本と考えるべき
 - 問いに対する直接的な答えをテキストで打ち出すことで、ロジックが分かりやすくなる

ボディのみ型



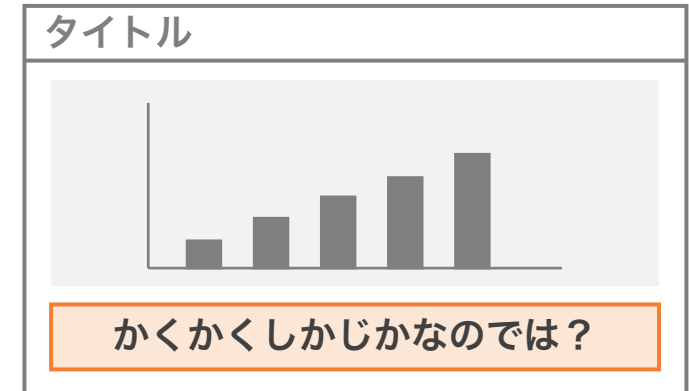
- 特に専用の領域を設けない
- 多用すべきではない
 - このタイプはプレゼンを聞かないと理解できない

メッセージ型



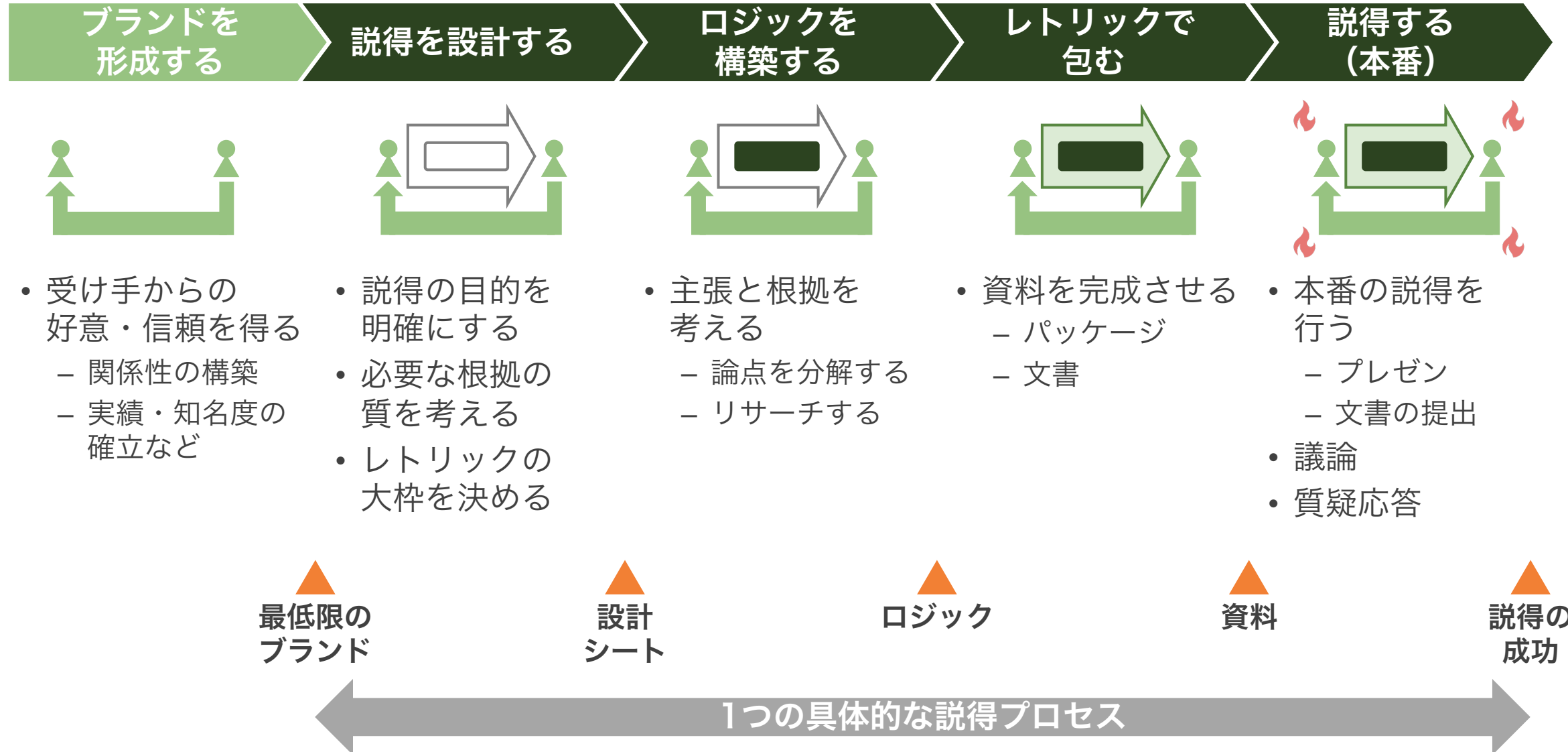
- ボディ最上部にテキストで問いに対する答えを書く
 - 要するに、答えは何か？
- **これを基本と考える**
 - 重要なことはテキストで伝えるべき

テイクアウェイ型



- ボディ最下部にテキストで示唆や新たな問いを書く
 - 問いに答えた結果、何が新しく言えるか？
- アクセントとして使ってもよい

説得のプロセス



<背景>

- 先週の業績報告会において、関西支部の業績が急速に悪化（前年同月比13%減）していることが判明した

<このプレゼンの論点>

- 関西支部の業績悪化の対策として、何をすべきか？

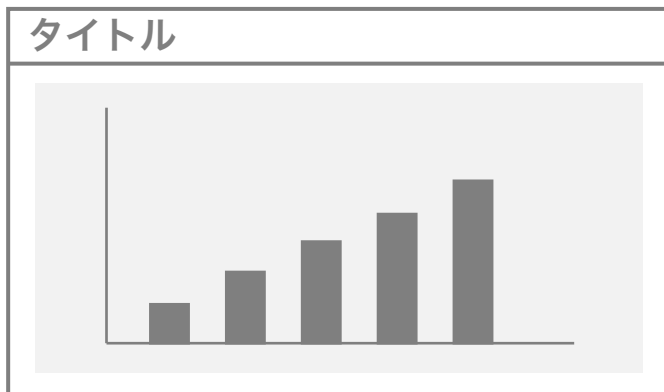
<本日の目的>

- 提案する解決策の内容、予算について承認を頂きたい

主なボディのレイアウトと、使うべき型

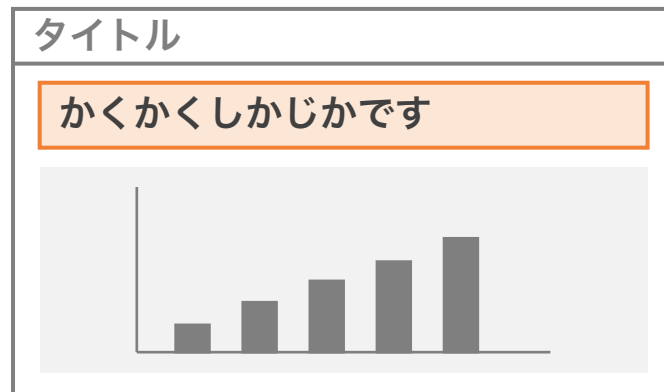
- 論理性に寄ったコンテキストでは、ボディのレイアウトはメッセージ型を基本と考えるべき
 - 問いに対する直接的な答えをテキストで打ち出すことで、ロジックが分かりやすくなる

ボディのみ型



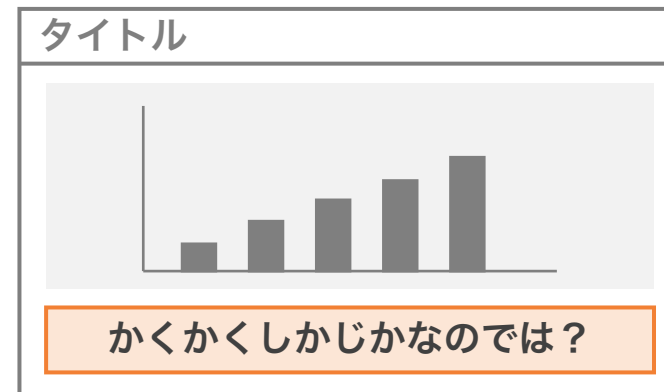
- 特に専用の領域を設けない
- 多用すべきではない
 - このタイプはプレゼンを聞かないと理解できない

メッセージ型



- ボディ最上部にテキストで問いに対する答えを書く
 - 要するに、答えは何か？
- **これを基本と考える**
 - 重要なことはテキストで伝えるべき

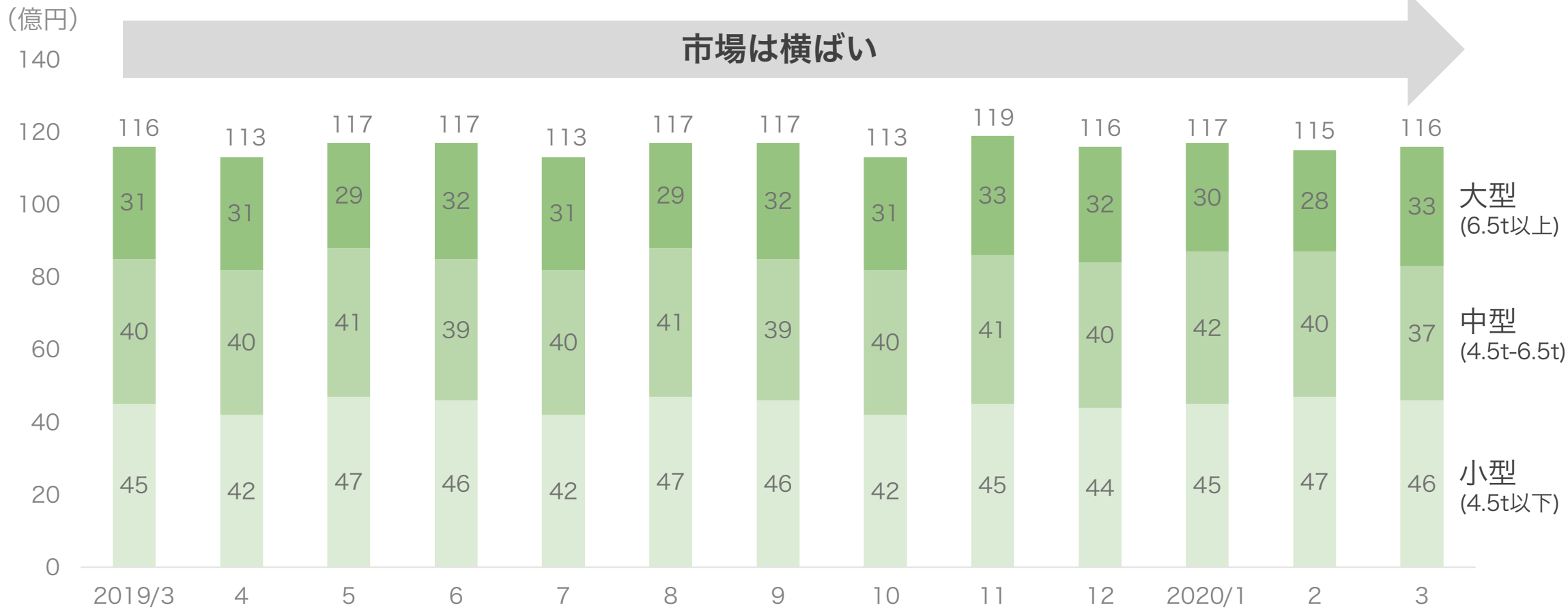
テイクアウェイ型



- ボディ最下部にテキストで示唆や新たな問いを書く
 - 問いに答えた結果、何が新しく言えるか？
- アクセントとして使ってもよい

トラック市場（関西地区）の推移

データはすべて架空のもの



売上が減少した原因は、市場の変化ではなく
競争にシェアを奪われたからだと考えられる

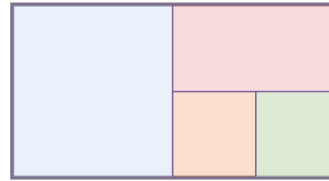
※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

論点の分解が「正しい」とは

- 問題解決につながる論点の分解が正しい
 - 分解が網羅的 (MECE) であることは、分解が正しいこと的前提条件ではない

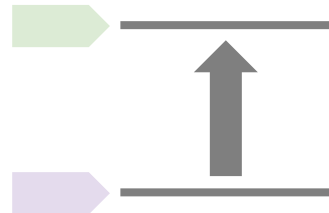
具体的には？

網羅的
(MECE)
である



- 論点を「漏れなく、ダブリなく」分解する
 - 漏れは重要な論点の見落としを、ダブリは混乱を招く
 - MECEとは”Mutually **E**xclusive, **C**ollectively **E**xhaustive” の略で、「ミーシー/ミッシー」と読まれる

問題解決に
つながる

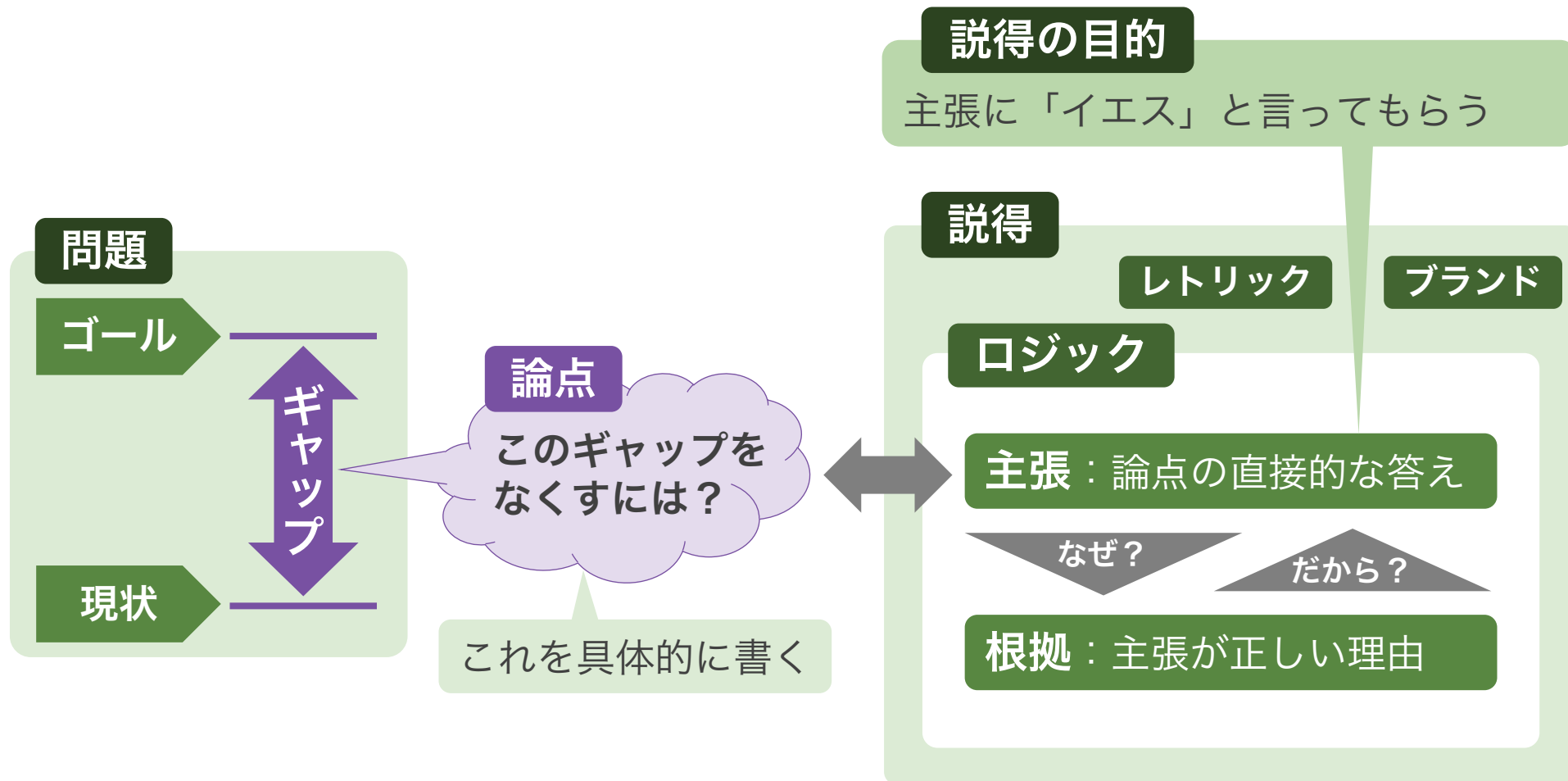


- 分解した論点に**答えが出せる**
 - 論点に答えるためのリサーチが可能である
- 答えをもとに、**具体的な解決策を考えることができる**

- 数パターン網羅的に分解して、検証作業をするのが現実的
 - 論点の分解が正しいかは、事後的にしか分からない

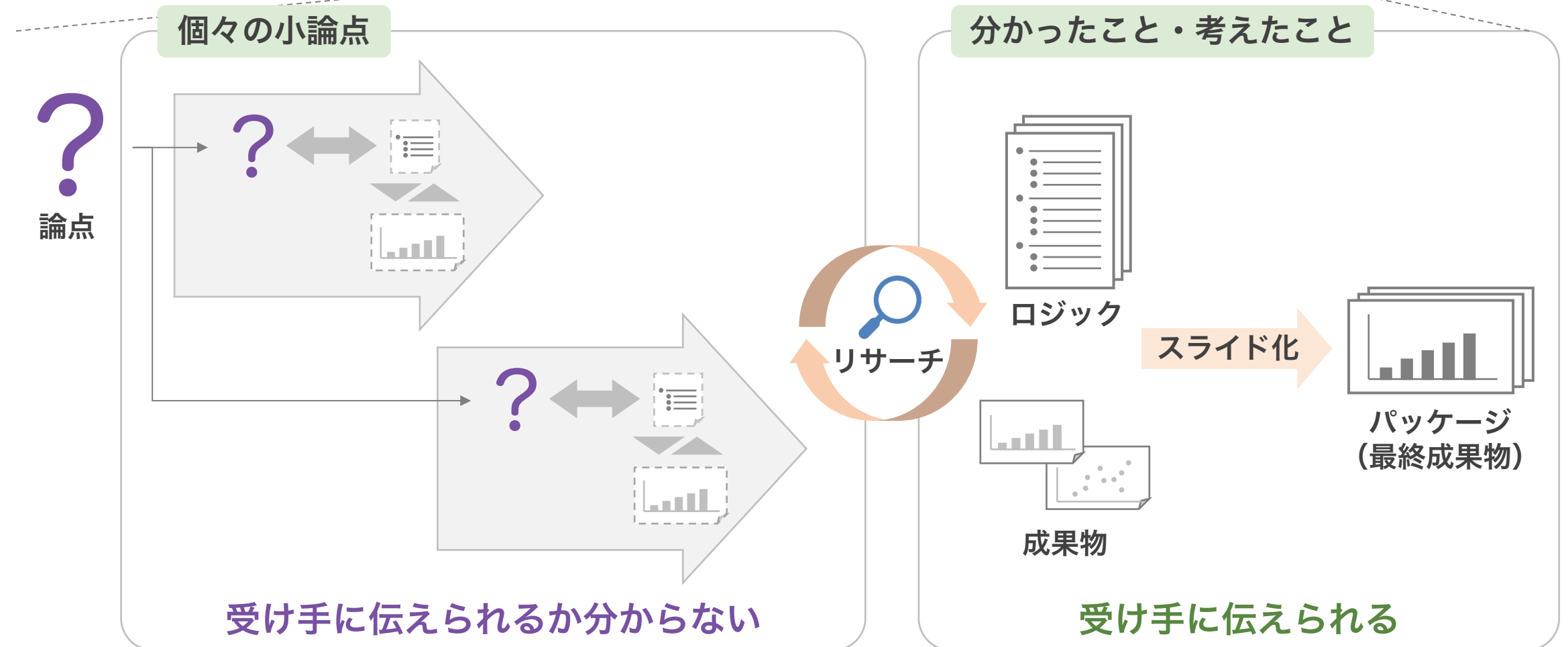
問題と説得の関係

- まず問題があり、私たちはそれに対する答えが正しいことを説得する
 - 問題に対する答えを問いかける疑問文が論点



Lesson 3

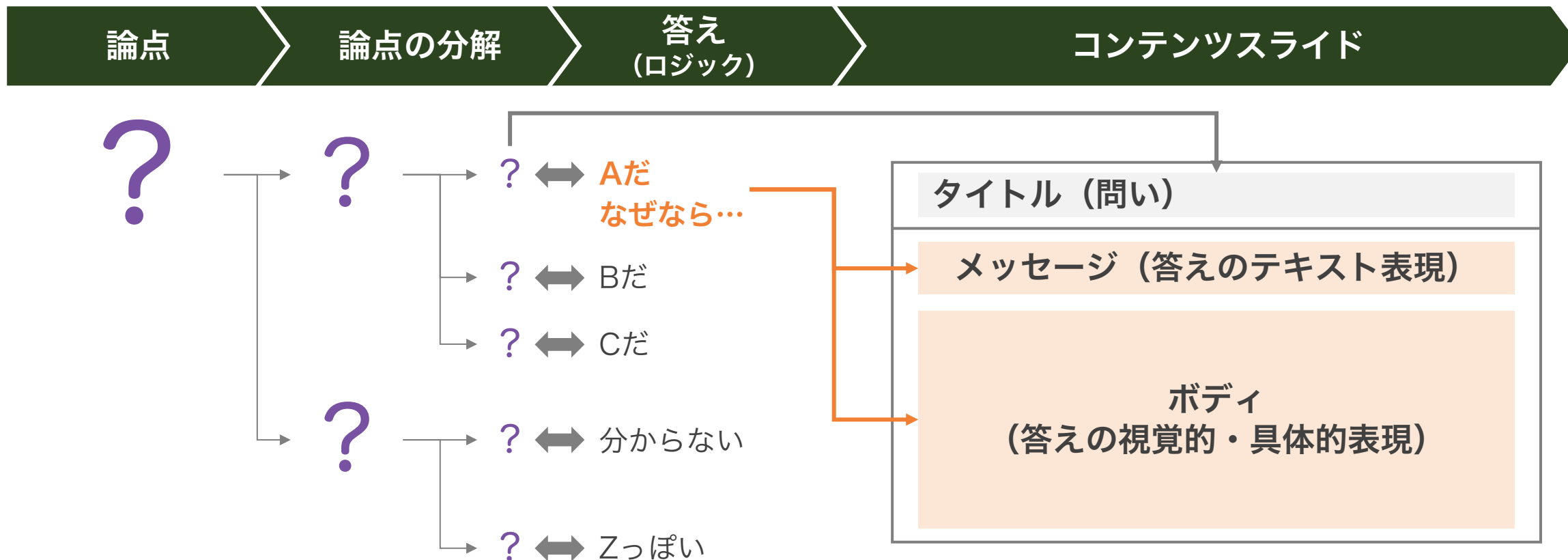
論点がパッケージになるまで



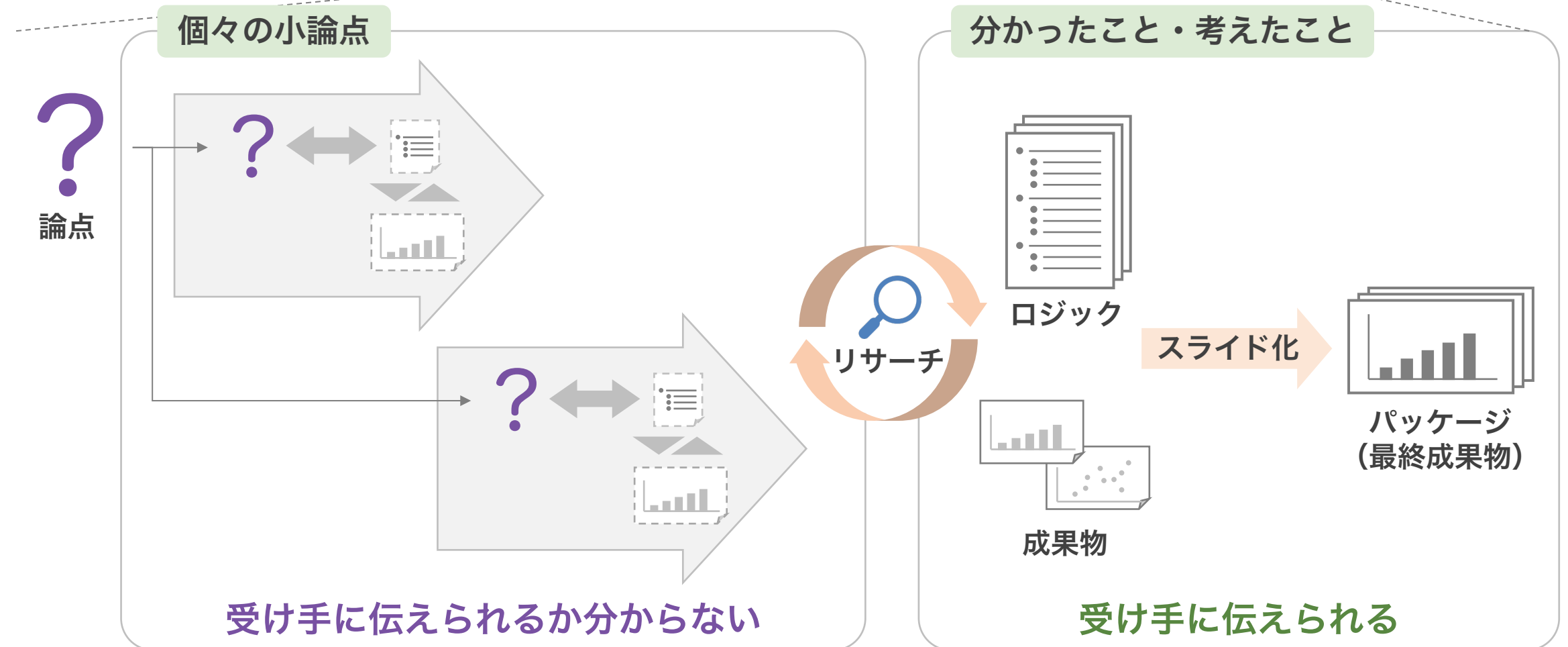
メッセージ型の構成

- メッセージ型では、タイトル下部に答えをテキストで書くための領域を設ける
 - そのようなものを作る以上、ボディは必然的に答えの視覚的・具体的表現になる

論点とコンテンツスライドの関係



論点がパッケージになるまで

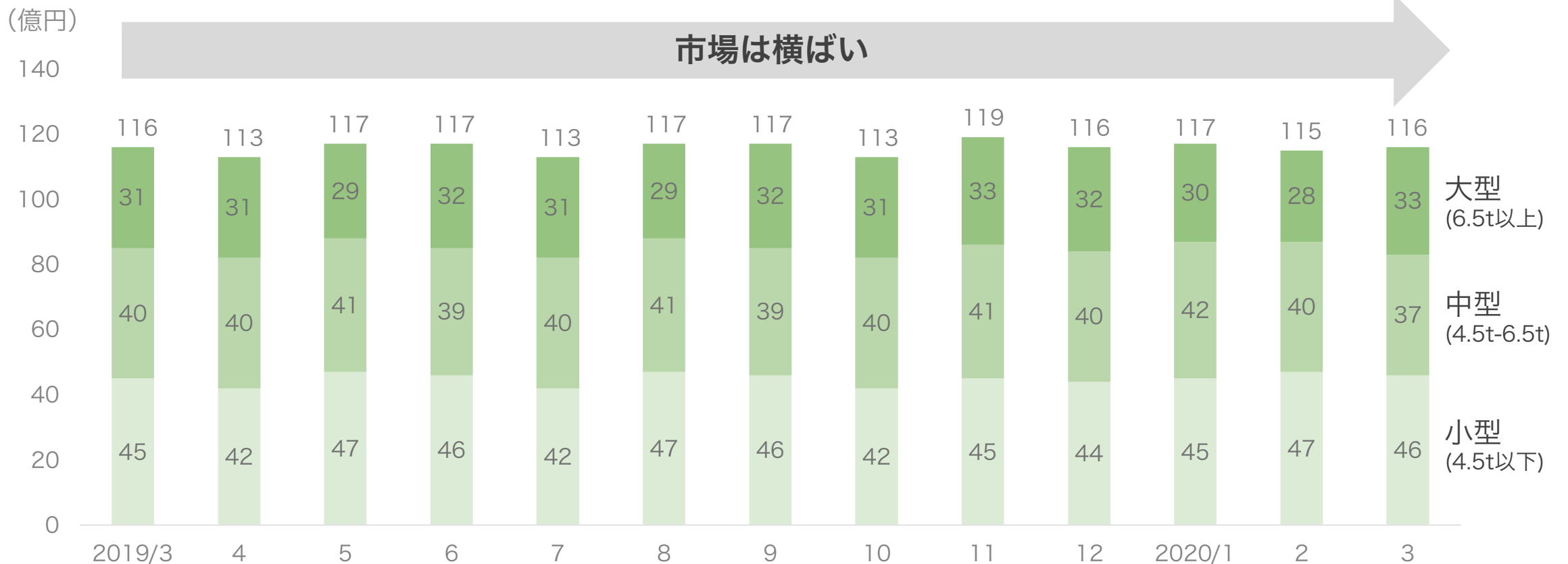


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

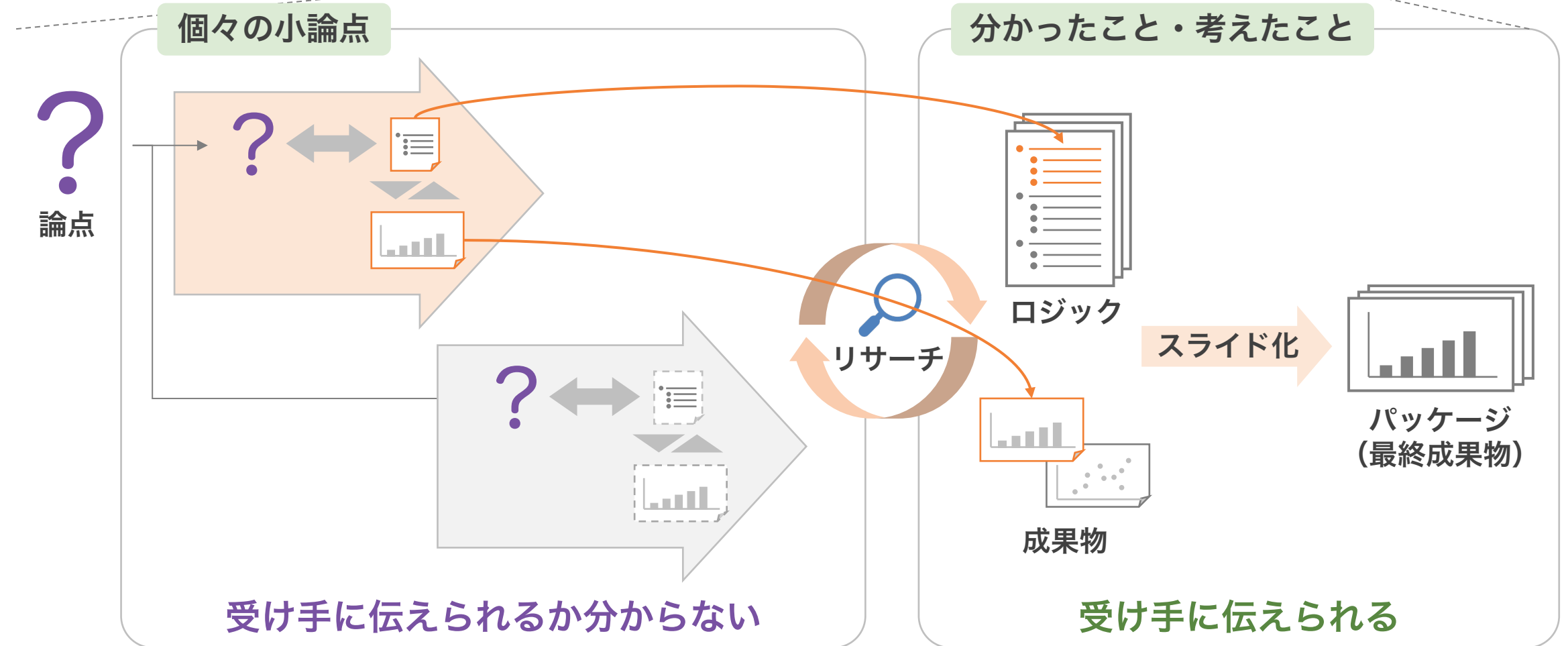
- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移



※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

論点がパッケージになるまで

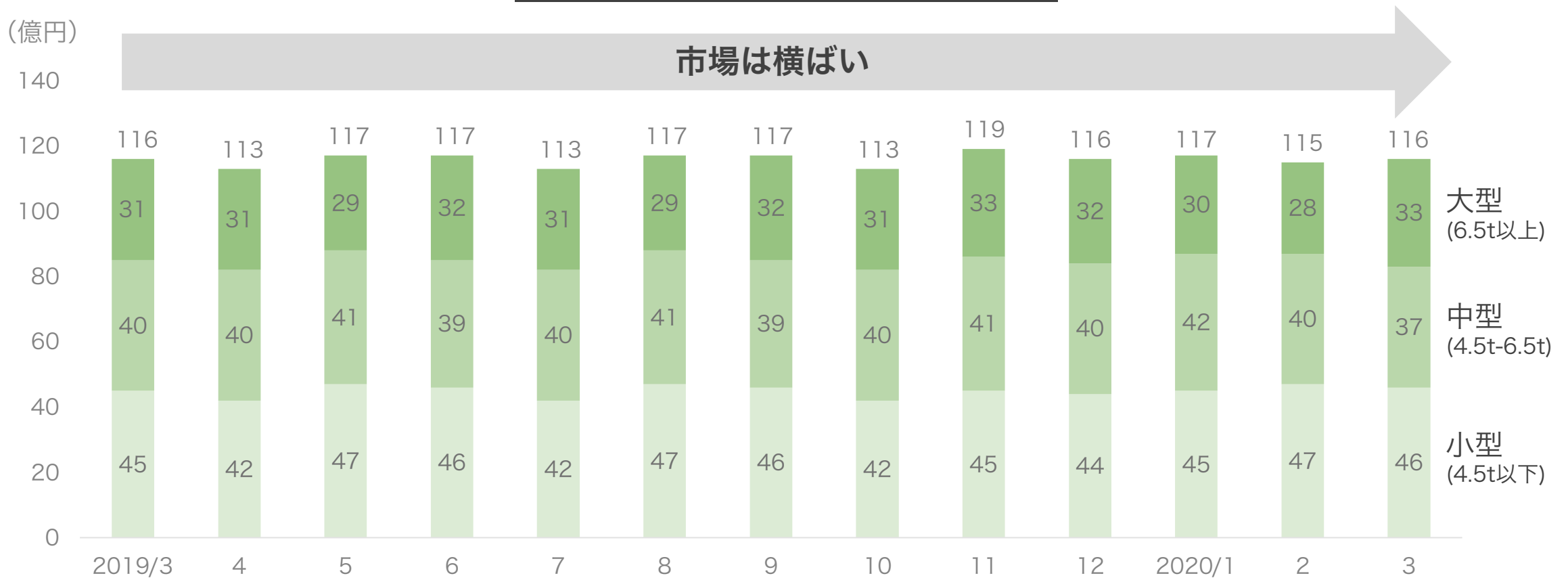


売上が減った理由：市場 or シェア

データはすべて架空のもの

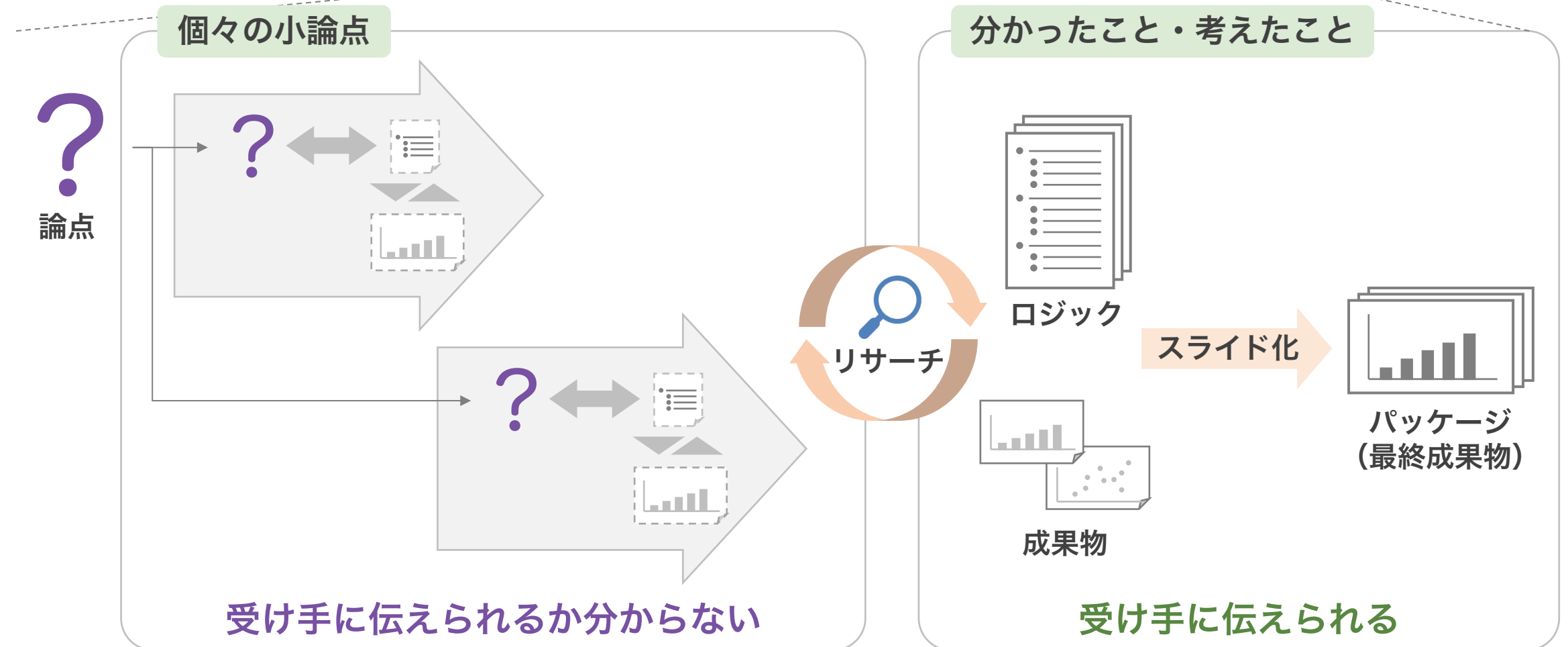
- 売上が減った原因は、市場の縮小ではなく、競合にシェアを奪われたからである
 - 関西地区のトラック市場は、この1年を通じて横ばいである

トラック市場（関西地区）の推移



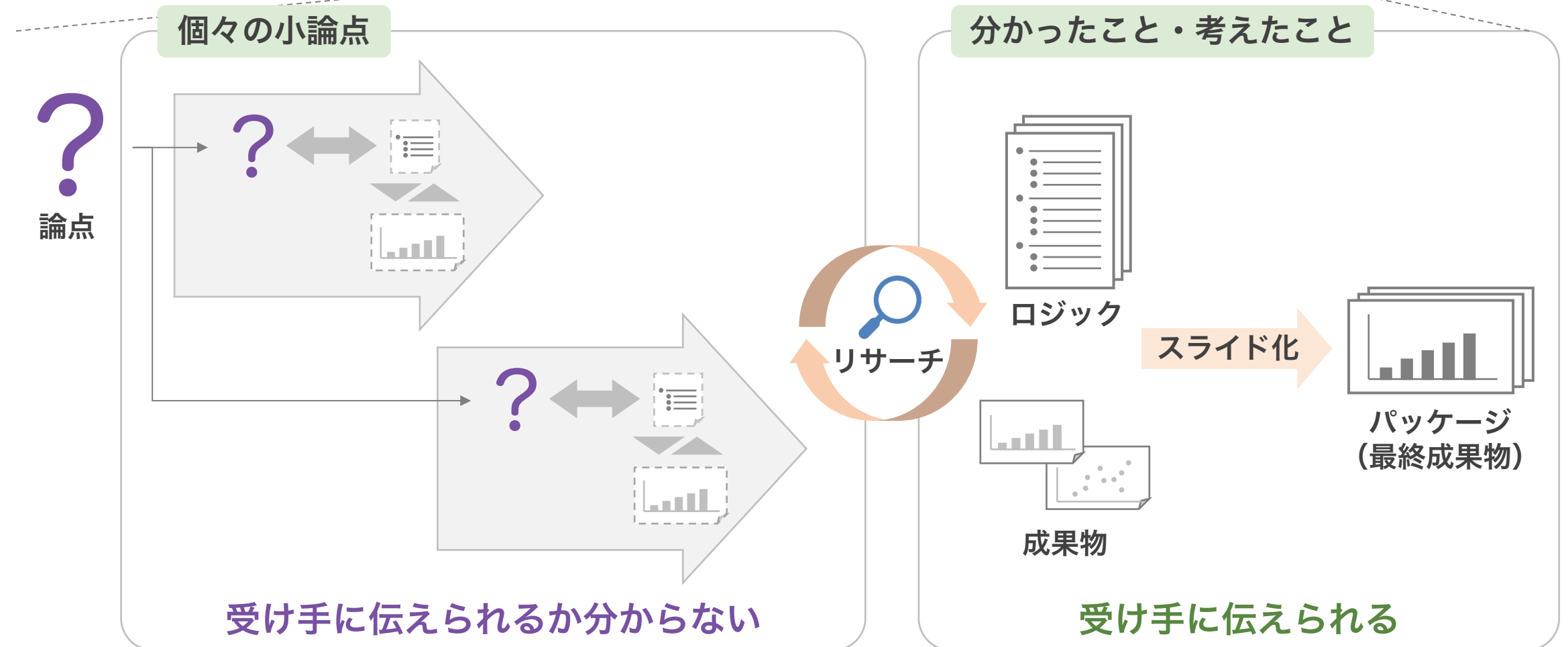
※小型、中型、大型の重量表記は最大積載量を意味する
Source: 『トラック市場データ大全』 民明書房

論点がパッケージになるまで

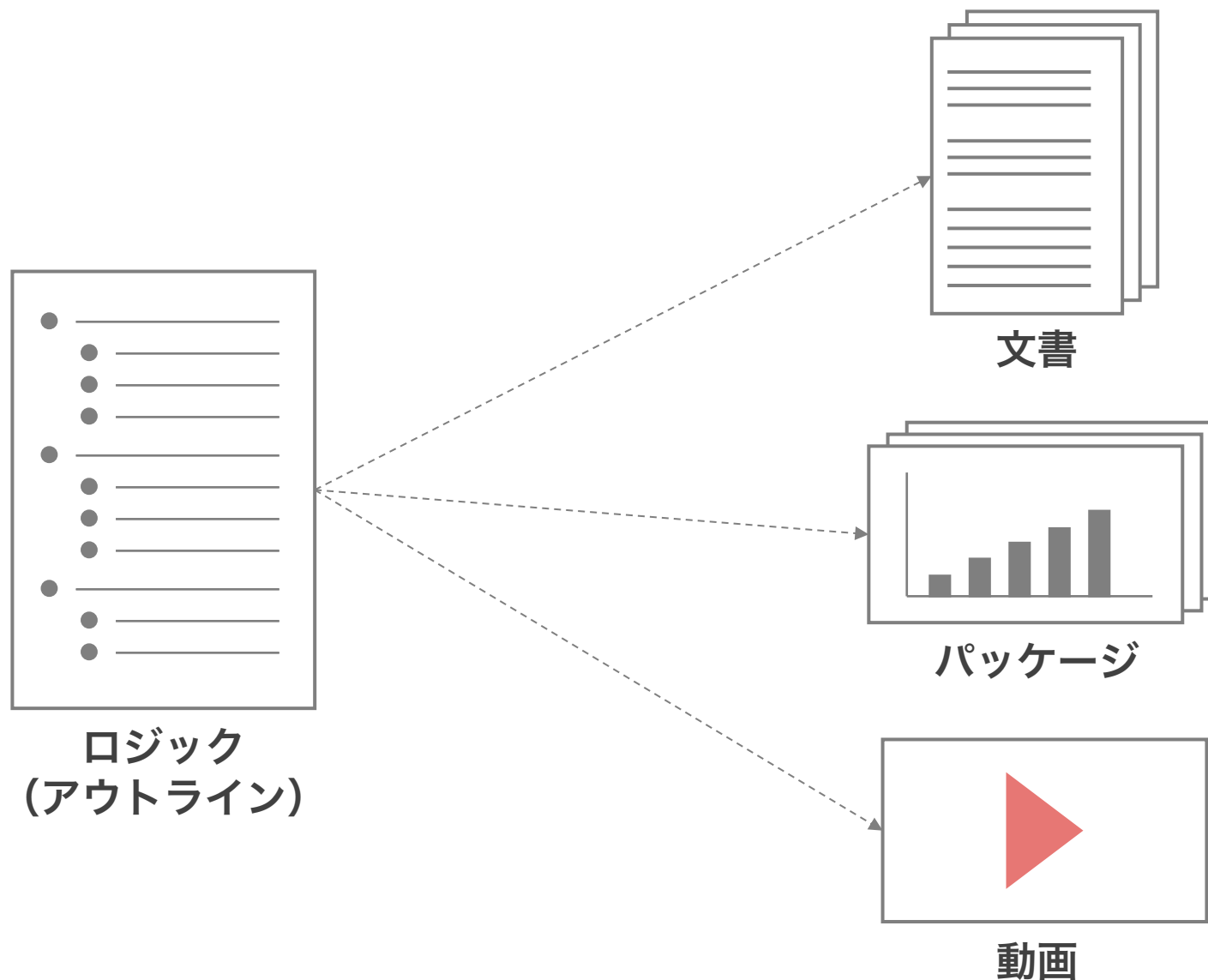


Lesson 5

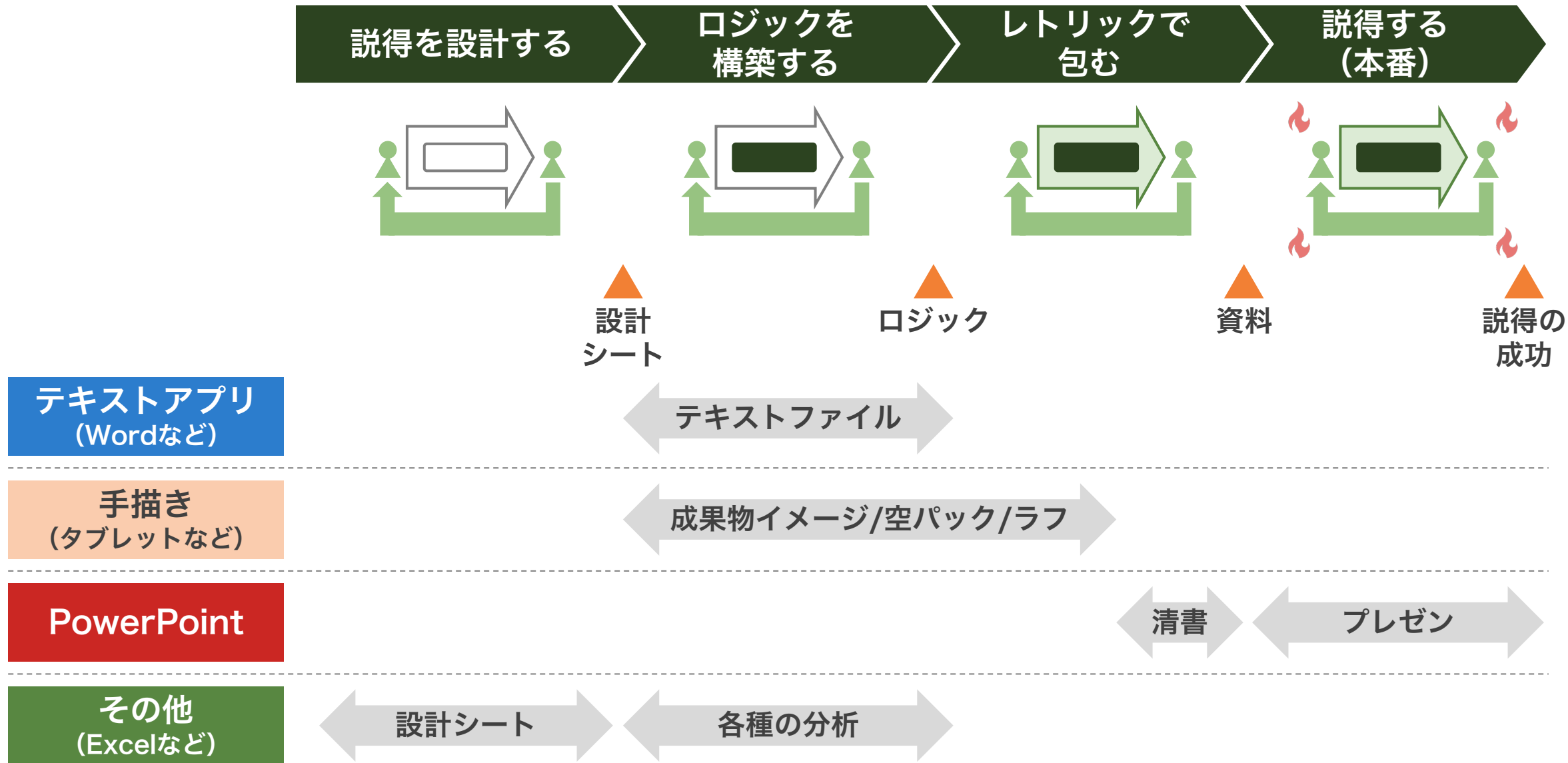
論点がパッケージになるまで



ロジック (アウトライン) とメディアの関係

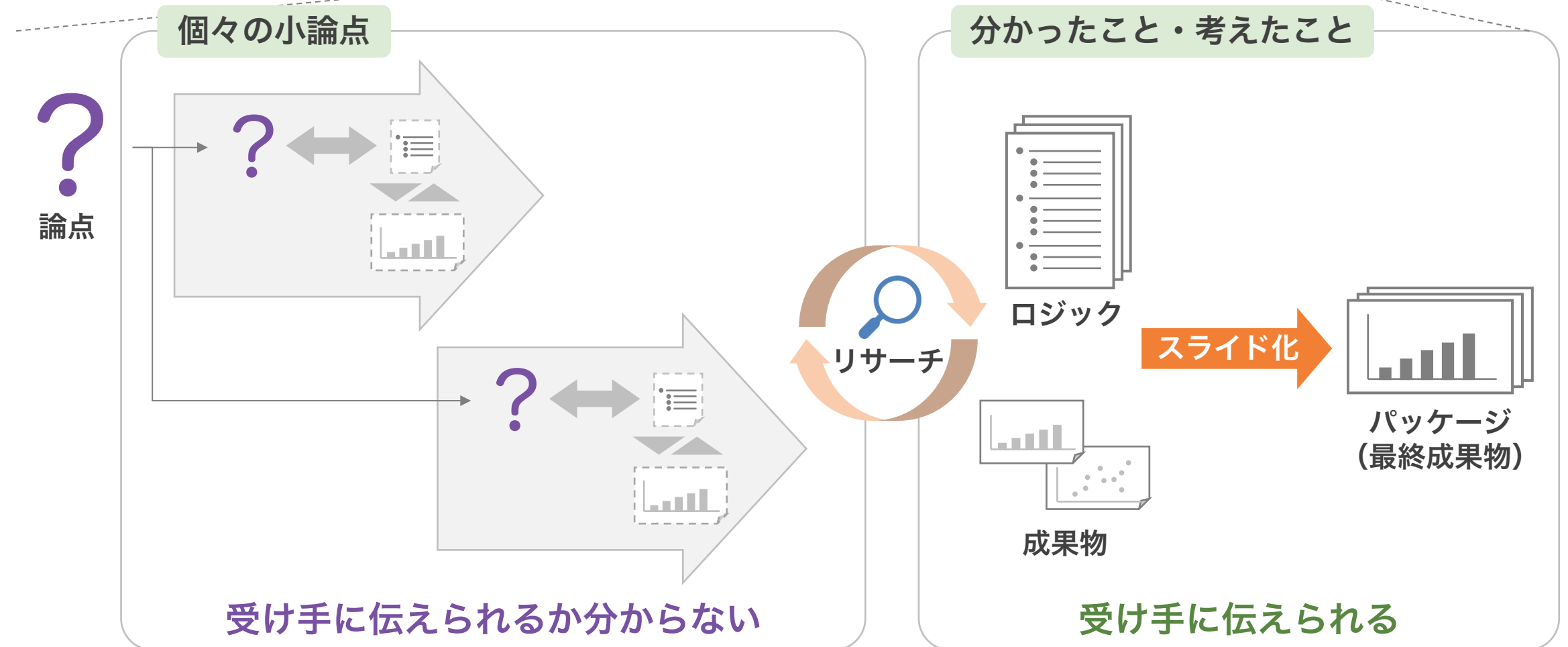


説得のプロセスと、そこで利用するアプリ



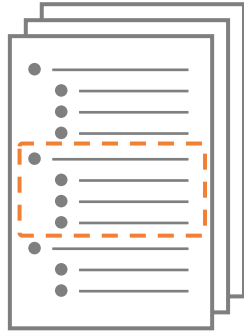
Lesson 6

論点がパッケージになるまで

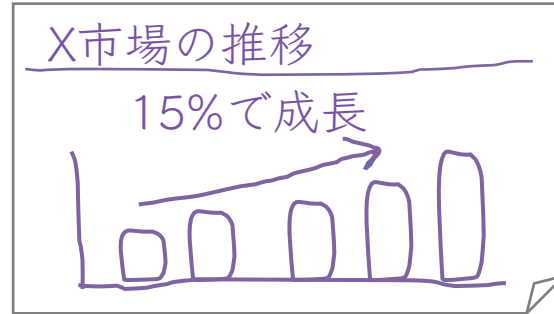


スライド作成のプロセス

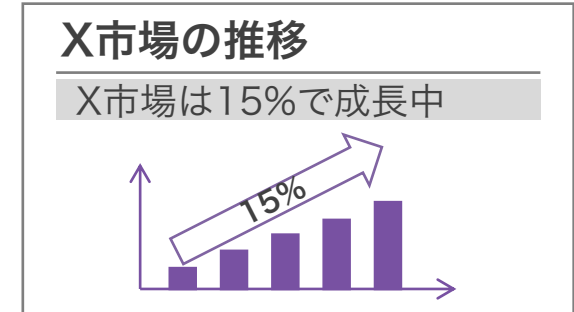
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - **どのメディアを使うか？**

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

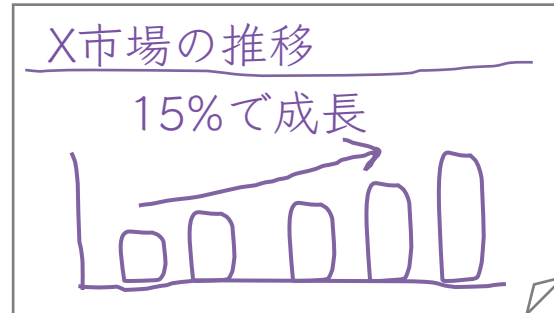
ラフがあるからコピペできる

スライド作成のプロセス

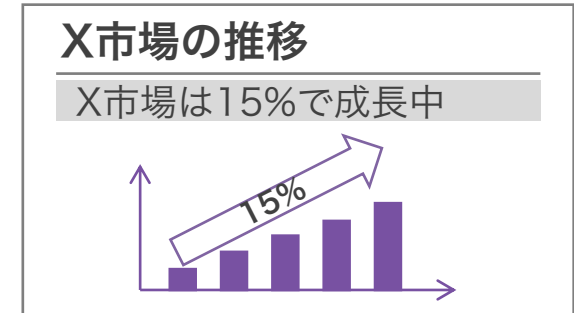
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

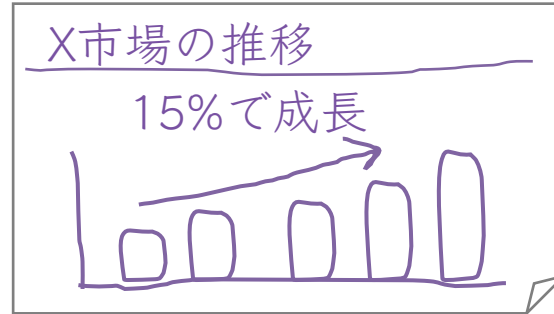
ラフがあるからコピペできる

スライド作成のプロセス

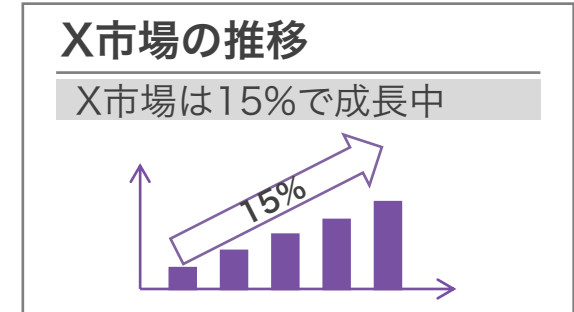
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

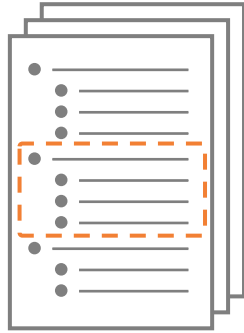
ラフがあるからコピペできる

資料で使える主なメディア

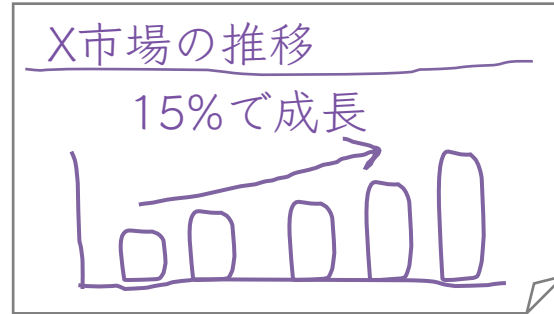
	例	説明	傾向
テキスト	<ul style="list-style-type: none">たとえば 	<ul style="list-style-type: none">文字<ul style="list-style-type: none">– 吹き出しやボックスも含む	
データ	表	 <ul style="list-style-type: none">データを行と列で整理したもの<ul style="list-style-type: none">– 主に定性（数字にならない）データに使う	
	グラフ	 <ul style="list-style-type: none">定量データを視覚化したもの<ul style="list-style-type: none">– 棒グラフ、折れ線グラフなど	
図解 (チャート)	 <ul style="list-style-type: none">関係や流れを視覚化したもの<ul style="list-style-type: none">– 矢印や三角形など		
画像	 <ul style="list-style-type: none">写真、イラスト、アイコンなど<ul style="list-style-type: none">– 視覚的イメージを見せる		

スライド作成のプロセス

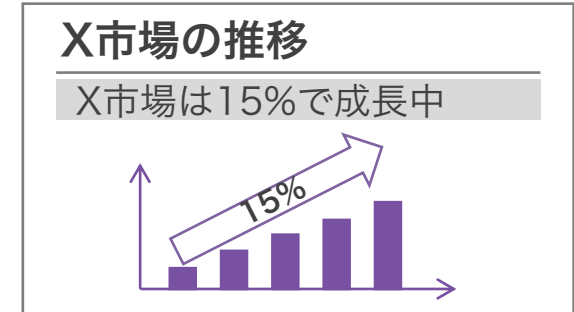
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

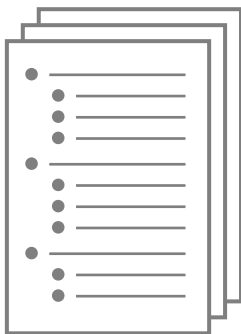
ラフがあるからコピペできる

スライド作成のプロセス

ロジックを切り出す

ラフを描く

清書する



説明

- XXX
– XXX

- XXX
– XXX

- XXX
– XXX

方法

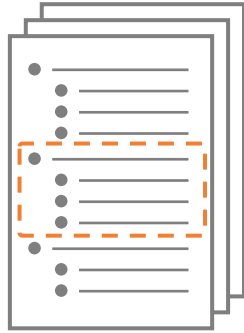
- XXX
– XXX

- XXX
– XXX

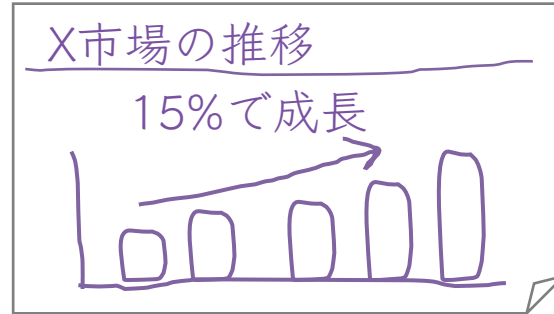
- XXX
– XXX

スライド作成のプロセス

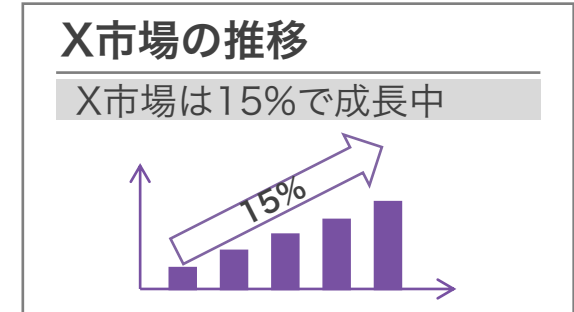
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

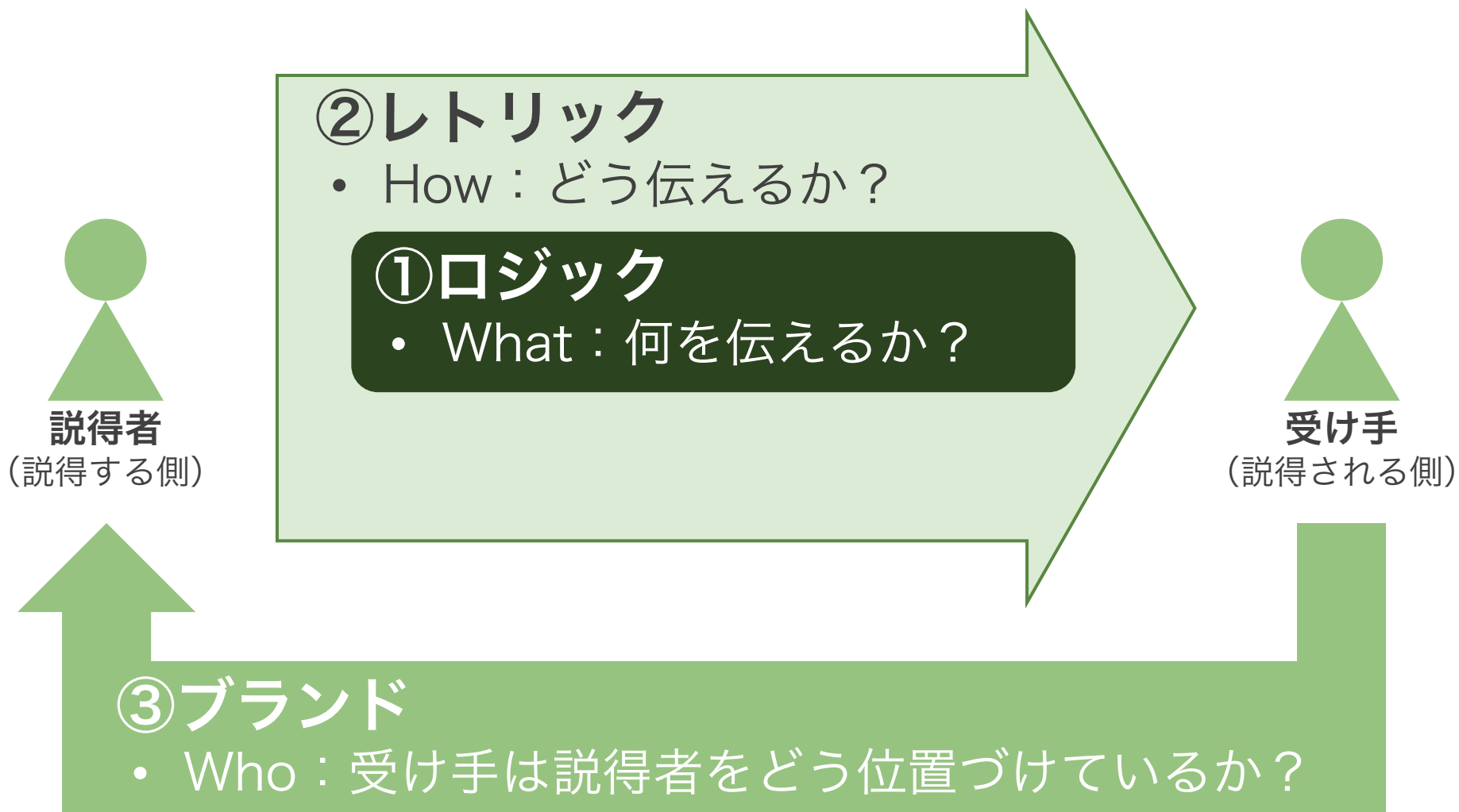
- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

ラフがあるからコピペできる

Lesson 7

説得の構造

- 説得は①ロジック、②レトリック、③ブランドの3要素から構成される

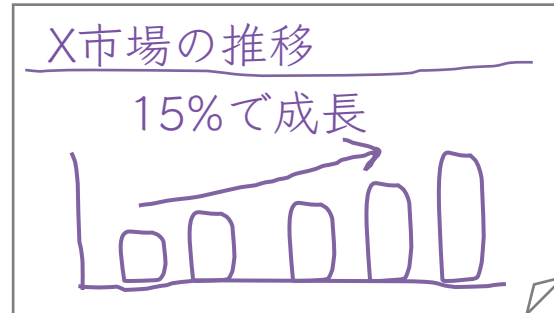


スライド作成のプロセス

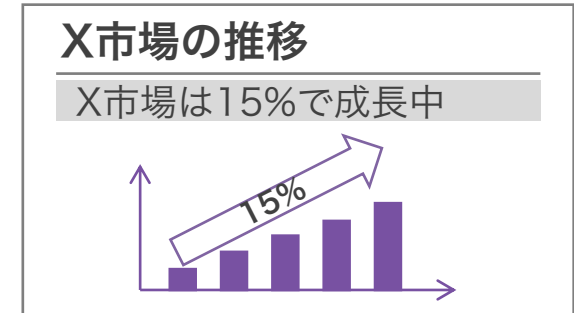
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

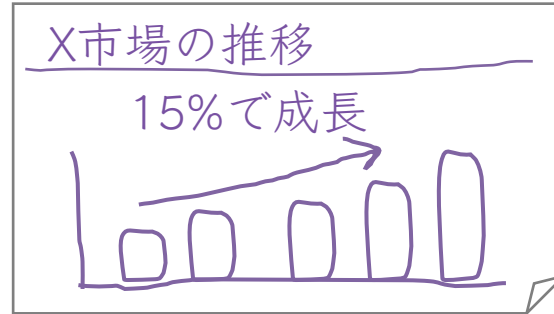
ラフがあるからコピペできる

スライド作成のプロセス

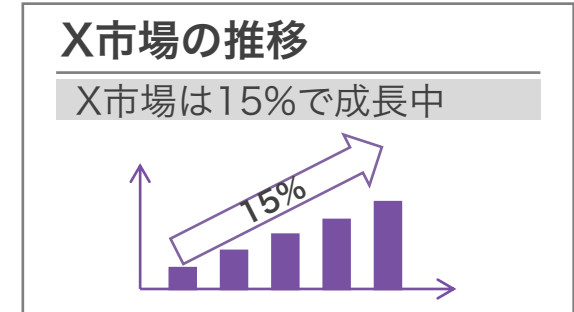
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

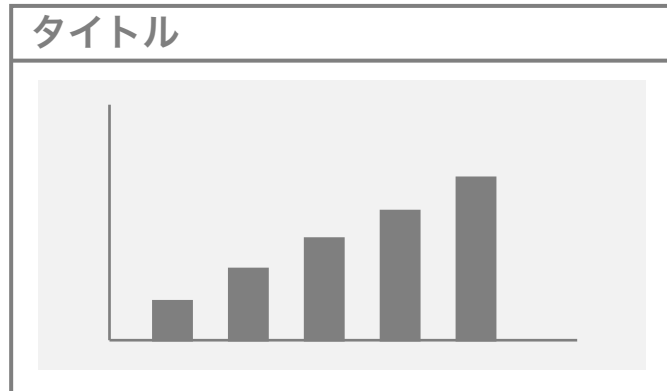
- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

ラフがあるからコピペできる

主なボディのレイアウトと、使うべき型

- 論理性に寄ったコンテキストでは、ボディのレイアウトはメッセージ型を基本と考えるべき
 - 問いに対する直接的な答えをテキストで打ち出すことで、ロジックが分かりやすくなる

ボディのみ型



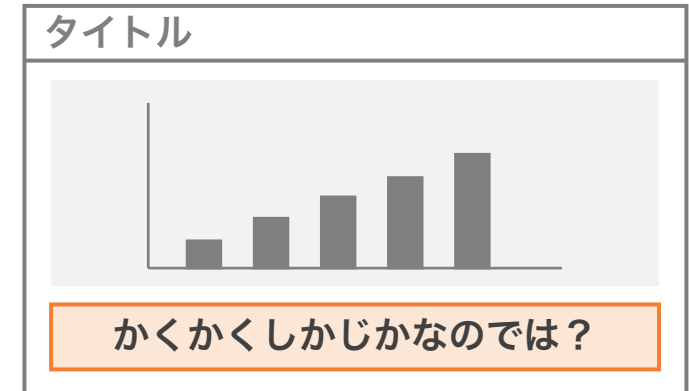
- 特に専用の領域を設けない
- 多用すべきではない
 - このタイプはプレゼンを聞かないと理解できない

メッセージ型



- ボディ最上部にテキストで問いに対する答えを書く
 - 要するに、答えは何か？
- **これを基本と考える**
 - 重要なことはテキストで伝えるべき

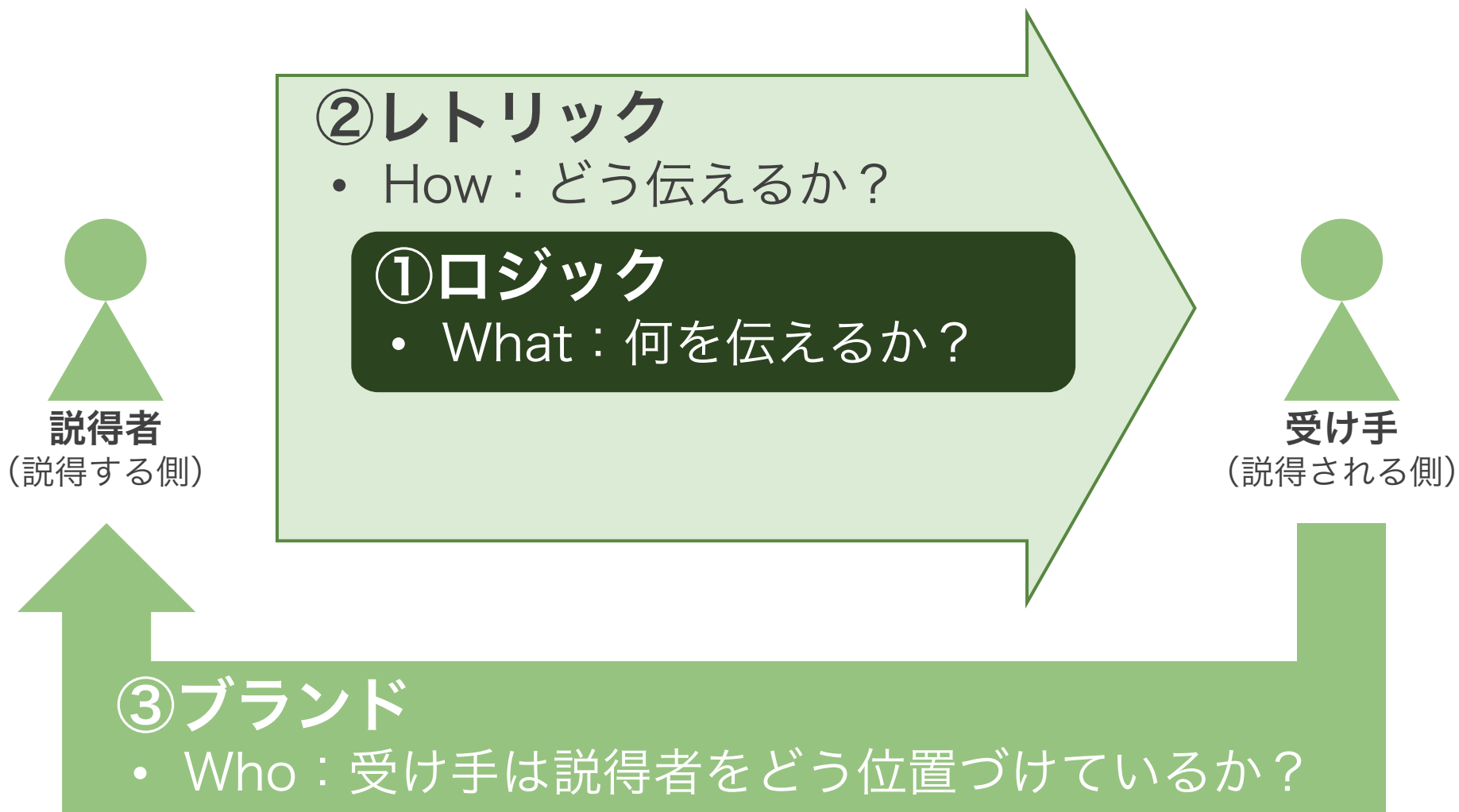
テイクアウェイ型



- ボディ最下部にテキストで示唆や新たな問いを書く
 - 問いに答えた結果、何が新しく言えるか？
- アクセントとして使ってもよい

説得の構造

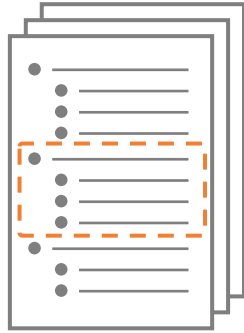
- 説得は①ロジック、②レトリック、③ブランドの3要素から構成される



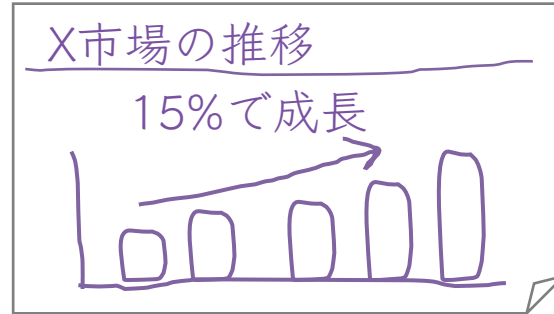
Lesson 9

スライド作成のプロセス

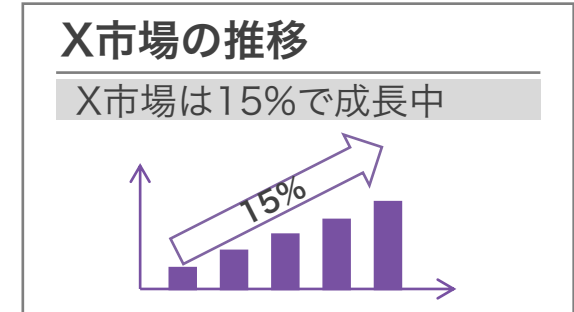
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - **どのメディアを使うか？**

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

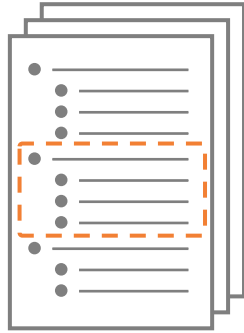
- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

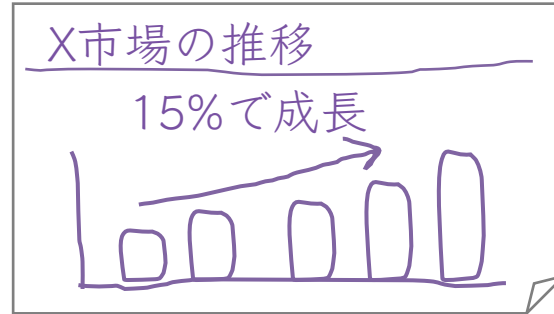
ラフがあるからコピペできる

スライド作成のプロセス

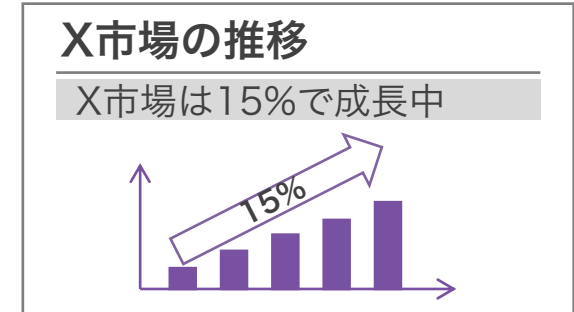
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

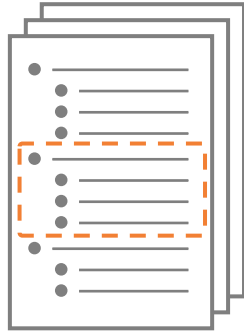
ラフがあるからコピペできる

資料で使える主なメディア

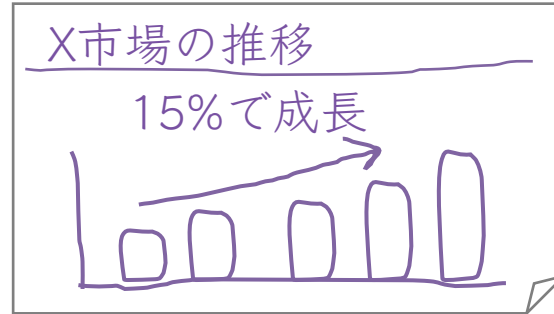
	例	説明	傾向
テキスト	<ul style="list-style-type: none">たとえば 	<ul style="list-style-type: none">文字<ul style="list-style-type: none">– 吹き出しやボックスも含む	
データ	表	 <ul style="list-style-type: none">データを行と列で整理したもの<ul style="list-style-type: none">– 主に定性（数字にならない）データに使う	
	グラフ	 <ul style="list-style-type: none">定量データを視覚化したもの<ul style="list-style-type: none">– 棒グラフ、折れ線グラフなど	
図解 (チャート)	 <ul style="list-style-type: none">関係や流れを視覚化したもの<ul style="list-style-type: none">– 矢印や三角形など		
画像	 <ul style="list-style-type: none">写真、イラスト、アイコンなど<ul style="list-style-type: none">– 視覚的イメージを見せる		

スライド作成のプロセス

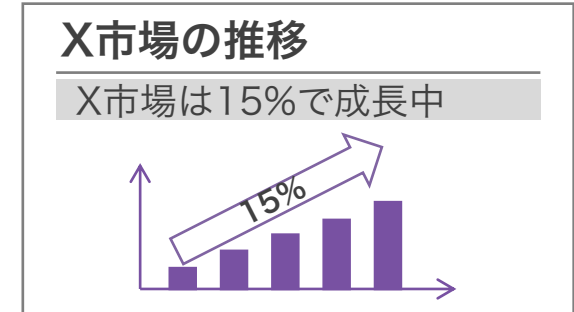
ロジックを切り出す



ラフを描く



清書する



説明

- スライドが扱う小論点・ロジックを決める
 - 全体のロジックのうち、何をどこまで述べるか？

- スライドの大まかな見せ方を決める
 - どのメディアを使うか？

- スライドを仕上げる
 - テキストを書く
 - 各メディアにデザインを適用する

方法

- **Word** (を見ながら、感覚的に行う)
 - 1枚のスライドに適切なロジックの量がある

- **手描き**
 - 捨てやすいことが重要

- **PowerPoint**
 - 文言の修正以外は、**コピペを中心に行う**

ラフがあるからコピペできる



Liffel